

## 6. 阿佐谷北保育園

[ver.2]

調査対象

平成29年10月の配布時点で利用している在園児93名の保護者84世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。

利用者総数  
利用者家族総数(世帯)  
共通評価項目による調査対象者数  
共通評価項目による調査の有効回答者数  
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

93
84
84
70
83.3

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者：「父」7名(10%)、「母」57名(82%)、「父母一緒に」5名(7%)、無記入1名(1%)。  
・総合的な感想は「大変満足」36名(51%)、「満足」29名(41%)、「どちらともいえない」4名(7%)、無記入1名(1%)で、「大変満足」「満足」と返答した方々は回答者の92%で、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。  
・回答者の90%以上が「満足」と返答し、非常に高い満足を得ていた設問は、問1「心身の発達に役立つ活動」、問2「興味や関心の持てる活動」、問3「食事」、問9「清潔、整理整頓」、問13「子どもの気持ちの尊重」、問14「プライバシー保護」であった。  
・総合的な感想では、「毎日の申し送りや連絡帳の記述がとても丁寧で、安心して子どもを預けることができる」「のびのびとした雰囲気や園庭も広く、とにかく自由に遊べている」などのコメントが記入されていた。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	68	2	0	0
「はい」と返答された方々は回答者の97%で、子どもの心身の発達に役立つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「保育園に通うのが楽しくてしょうがないようです」「家で親が一人ではさせられないことを、園ではたくさんしてくれている」などのコメントが記入されていた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	69	1	0	0
「はい」と返答された方々は回答者の99%で、子どもが興味や関心のある活動に関して非常に高い満足を得ている。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	65	3	2	0
「はい」と返答された方々は回答者の93%で、食事に関して非常に高い満足を得ている。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	54	13	1	2
「はい」と返答された方々は回答者の77%で、戸外遊びに関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方からは「外遊びや散歩により、昆虫が好きになりました」「たくさん植物や虫と触れあっている」などのコメントが記入されていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	51	10	3	6
「はい」と返答された方々は回答者の73%で、保育時間の変更に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方からは「1時間の延長保育が可能なのは、ありがたい」などのコメントが記入されていた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	55	13	1	1
「はい」と返答された方々は回答者の79%で、安全対策に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「園として安全対策をしっかり高めようという意識を感じるが、登降園時の玄関の施錠がきちんとできていないときがあり、保護者側の意識も高める必要があると思う」などのコメントが記入されていた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	44	23	2	1
「はい」と返答された方々は回答者の63%、「どちらともいえない」33%、「いいえ」3%、非該当1%であった。「はい」と返答された方からは「年間のお知らせ、毎月のお知らせで、わかりやすくなっている」、「いいえ」と返答された方からは「個人面談について、もっと早めに通知がないと仕事の調整がとれない」などのコメントが記入されていた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	60	10	0	0
「はい」と返答された方々は回答者の86%で、家庭と保育所との信頼関係に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「担任の中に育児の相談に十分に相談にのってもらえる先生がいる」「子育てで悩んでいるとき、いろいろ話を聞いてもらいアドバイスもしてもらえた」、「どちらともいえない」と返答された方からは「日々職員が忙しそうで、話しができない感じがする」などのコメントが記入されていた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	65	3	2	0
「はい」と返答された方々は回答者の93%で、施設内の清掃、整理整頓に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「建物は古いが、とても整理整頓がされていて、他園よりも清潔だと思う」「毎日清掃担当の方がとてもきれいにしてくれている」などのコメントが記入されていた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	59	8	3	0
「はい」と返答された方々は回答者の84%で、職員の接遇・態度に関して高い満足を得ている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	61	7	2	0
「はい」と返答された方々は回答者の87%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「病気の内容をこまめに園と話し、柔軟に対応してもらっている」などのコメントが記入されていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	56	9	1	4
「はい」と返答された方々は回答者の80%で、子ども同士のトラブル対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「子どもの間に入り助言などをして、子どもの世界に上手く対応し教育している」などのコメントが記入されていた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	68	1	1	0
「はい」と返答された方々は回答者の98%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「子どもが上手く話せず泣いてしまうときに、代弁して落ち着かせてくれている」などのコメントが記入されていた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	65	1	2	2
「はい」と返答された方々は回答者の93%で、プライバシー保護に関して非常に高い満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	61	7	1	1
「はい」と返答された方々は回答者の88%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「とてもわかりやすく安心して子どもを預けられる」などのコメントが記入されていた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	50	15	0	5
「はい」と返答された方々は回答者の72%で、不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	19	16	11	24
「はい」と返答された方々は回答者の27%、「どちらともいえない」23%、「いいえ」16%、非該当34%であった。				

I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 9/9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している ○非該当
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている ○非該当
	●あり ○なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) ○非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている ○非該当
	●あり ○なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している ○非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている ○非該当
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している ○非該当
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている ○非該当

カテゴリー1の講評

保育課程・年間指導計画などをファイルに綴じて、いつでも見られるようにしている

「園の目標」「保育の目標」を「ほいくえんのしおり」に明示し、保護者に対して、入園説明会で説明し、園の目指す子どもの姿を伝えている。また、保育課程・年間指導計画・各クラス月間指導計画・保健計画・調理年間計画などをファイルに綴じて玄関に置き、保護者がいつでも閲覧できる。毎月発行の「園だより」にも園長の挨拶文を掲載し、当園の保育で大切にしていることを保護者に周知している。「保育理念」「保育方針」「保育目標」を事務室に掲示し、職員へ周知している。年間指導計画作成時、これらの理念などに立ち戻り、話し合っている。

園長・主査それぞれの仕事目標を職員へ伝え、リーダーの役割を示している

園長・主査それぞれが1年間の仕事目標(保護者対応や関係機関への対応など)や具体的な取り組みなどを記載した年間計画を立てており、職員へ伝えている。また、その計画の進捗状況を、半期ごと・年度末に反省して書面にまとめ、職員へ伝えている。他方、杉並区では、園長・主査・向上リーダー2名を保育の向上促進の4本柱と位置づけ、定期的に向上リーダーが参加する「保育の向上を考えるリーダー会議」を開催し、保育の質向上を図っている。

「会議の持ち方」について書面を作成し、重要案件の検討、決定の場を明らかにしている

「会議の持ち方」について書面を作成し、当園の重要案件の検討、決定の場を明らかにしている。毎日、14時45分からミーティングを実施し、業務伝達やアレルギーなどについて確認し合っている。週1回、13時50分から昼打ち合わせを行い、園長会の報告や議題討議などを行っている。月1回、17時15分から職員会議を開き、園内研修や議題討議などを行っている。そのほか、乳児・幼児打ち合わせ、各プロジェクトの打ち合わせなどを通して、より良い保育に向けて協議している。重要案件については、結果を急がず十分に話し合うようにしている。

2 カテゴリー2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

「杉並区立保育園保育実践方針」を確認し、保育計画を作成している

区から公務員としての行動基準などに関する通達文書が届いたら、職員閲覧用ファイルに綴じ、職員へ周知している。年度初め・年度末の年間保育計画を立てるときに「杉並区立保育園保育実践方針」を確認している。毎月の夜の職員会議で、子どもの姿について意見交換するときにも「杉並区立保育園保育実践方針」を活用している。パート・アルバイト職員に対して「区立保育園で働くにあたって」を作成している。同書面にあるとおり、仕事をしていく上で知りえたことは、絶対に外部へ漏らさないよう、入職時に説明している。

園庭開放、育児相談、身体測定などを行い、地域の子育て力向上に貢献している

ほぼ月1回、10時～11時に園庭開放を実施しており、地域の親子が平均4組ほど来園している。その際、育児相談に応じたり、身体測定なども行い、地域の子育て力向上に貢献している。「ふれあい保育」も行っており、子どもの年齢に合わせたクラスに入り、園児と一緒に遊んでいる。今年度は児童館の工事で中止となっているが、これまで児童館の乳児グループの活動に保育者や看護師を派遣していた。今年度、園内の自主勉強会に、近隣の小規模保育所の職員も参加しており、地域還元に努めている。

「ボランティア受け入れマニュアル」を用意し、ボランティアの受け入れ体制を整えている

ボランティアセンターを通して、ボランティアの受け入れを行っている。「ボランティア受け入れマニュアル」を用意し、ボランティアの受け入れ体制を整えている。活動前または活動初日に、オリエンテーションを実施し、守秘義務などの留意事項について伝えている。訪問調査時点で、月1回、5歳児クラスで読み聞かせのボランティアが活動していた。また、夏ボランティアとして、高校生・大学生を受け入れている。



3		カテゴリ-3	
利用者意向や地域・事業環境の把握と活用			
サブカテゴリ-1 (3-1)			
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	8/8
評価項目1 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している		<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-3の講評			
<p>入園説明会や掲示などを通して、保護者に苦情解決制度について説明している</p> <p>「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを玄関に掲示し、保護者に周知している。また、入園説明会でも苦情解決制度について説明している。口頭または連絡帳で寄せられた保護者の意見や苦情に対しては、個別に対応している。連絡帳そのものが複写の記録になっているため、保護者の意見・苦情を園で保管しており、後でフォローできるようにしている。継続するような課題については、児童票の備考欄に記載し、あとで検証できるようにしている。</p> <p>保護者の要望や意向を、園だよりなどを通して保護者にフィードバックしている</p> <p>子どもの登降園時に、保護者の意向や希望を把握している。運動会実施後、保護者の感想を書面に記載してもらっている。今年度はB4版の書面にクラスごとに保護者が書き込んだため、次年度は個別の用紙に記載してもらうよう改善する予定である。保護者の要望は、園だよりやクラス便りにて、その内容や対応についてフィードバックしている。保護者の意向を受け、職員のグループ討議などで改善策を検討し、その結果について保護者に書面でフィードバックしているケースもある。保護者からの要望に対しては、園で検討し丁寧に返答するよう努めている。</p> <p>地域子育てネットワーク連絡会や地域懇談会に参加し、保育に関する情報を収集している</p> <p>保健福祉計画や「保育のあり方検討会報告書」によって、区の保育の方向性について学び合っている。児童館、小学校などが参加する地域子育てネットワーク連絡会や、区内の認可保育園・認証保育所・杉並区立子供園などの保育関係施設の長が集まる杉並区内保育施設地域懇談会に参加し、保育に関する情報を収集している。園運営に関わるさまざまな情報を職員へ回覧したり、職員更衣室に掲示し、職員の意識の向上を図っている。</p>			

カテゴリ4		
4 計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリ1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 11/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	
<input type="radio"/> 非該当		
<input type="radio"/> 非該当		
<input type="radio"/> 非該当		
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	
<input type="radio"/> 非該当		
<input type="radio"/> 非該当		
<input type="radio"/> 非該当		
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	
<input type="radio"/> 非該当		
<input type="radio"/> 非該当		
<input type="radio"/> 非該当		

サブカテゴリ2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリ4の講評

園の組織目標を策定し、その目標達成に向けて取り組んでいる

区保健福祉部・保育課の組織目標を踏まえ、当園の現状の課題を分析し、「目標シート」に園の組織目標を策定している。「目標シート」には、目標や具体的な取り組みを定め、その目標達成に向けた実行体制を整え、その実践に向けて取り組んでいる。半期ごとに振り返り、反省・評価を行い、進捗管理を行い、年度末に実行状況をまとめ、次年度の計画に活かしている。また、保育計画に関しては、週ごと・月ごと・半期ごと・年度末に計画の反省を行い、次年度の計画に活かしている。

「危機管理マニュアル」を用意し、いつでも確認できるようにしている

区作成の「危機管理マニュアル」「施設安全の手引き」を用意し、危機管理における職員の行動基準について、いつでも確認できるようにしている。年3回、防犯訓練を実施している。職員同士で災害シミュレーションや散歩時に不審者に遭遇した場面など、さまざまな場面を想定して行っている。「防災訓練計画表」を作成し、月1回、地震・火災を想定した避難訓練を実施している。隣接のゆうゆう館との合同訓練や消防署の協力による救急法学習を行い、実施後は必ず反省をし、次回の改善につなげている。

感染予防対策として、看護師が講師での実際的な嘔吐物処理の訓練を実施している

感染予防対策として、看護師が講師となって、実際的な嘔吐物処理の訓練を実施している。感染症発症状況について区や園医から情報収集し、必要に応じて、園内の感染状況を掲示し、保護者・職員に注意喚起している。また、他園のヒヤリハット事例を共有し、自園で類似事故が起きないように留意している。園内の小さなリスクについては、気づいたときに昼ミーティングで報告し、園日誌にも記録し、職員間で情報共有している。環境プロジェクトを中心に園庭・保育室の安全点検を行っている。

カテゴリー5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリー1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況

8/8

評価項目1

事業所にとって必要な人材構成にしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

職員の質の向上に取り組んでいる

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(5-2)

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の標準項目実施状況

7/7

評価項目1

職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 職員のやる気向上に取り組んでいる		評点(0000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が連動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-5の講評		
<p>区の「目標申告制度」に基づいて、職員個々が仕事目標を明確にして業務にあたっている</p> <p>区の「目標申告制度」に基づいて、職員個々が仕事目標を明確にして業務にあたっている。正規職員は園長との面談を行い、目標への達成度を振り返り、職員のやる気向上を図っている。また、パート職員に対しても、年1回、個別面談をしている。人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を行っている。クラス担当を決める際は、園児の状況や職員個々のこれまでの経歴や希望などを総合的に勘案して決めている。</p> <p>新任職員に育成担当者を設置し、計画的に育成している</p> <p>新任職員一人ひとりに育成担当者を設置し、保育士としての知識等を習得できるよう、計画的に育成している。区保育課や人材育成課主催の研修に必要な職員を研修派遣するほか、外部研修の案内を、随時、職員へ周知し、職員の希望を募っている。また、園長・主査の指名で研修派遣することとしている。研修受講後、研修報告等により、他職員へ学んだことを伝えている。職員が気づいたことは園長や主査に報告し、さらに職員全体に周知する流れができており、園全体でのスキル向上に取り組んでいる。</p> <p>保育園長・主査を中心に就業状況を把握し、有給休暇の取得を奨励している</p> <p>保育園長・主査を中心に就業状況を把握し、ローテーション勤務の中で必要な休暇等の取得に努めている。有給休暇の取得率は約50%以上であり、良好である。男性保育士もいて、各年齢層により構成されており、バランスがよい職員集団である。ストレスチェックを実施し、高ストレスの職員は産業医に面談できるようにしている。</p>		

7		カテゴリ-7	
情報の保護・共有		サブカテゴリ-1(7-1)	
情報の保護・共有に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている		<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-7の講評			
<p>杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている</p> <p>杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている。情報セキュリティ対策基準(部外秘)によりアクセス権等の設定をしている。区で定めた文書保管期間に基づき、保存年限を過ぎた文書等の廃棄を行うなど、記録類の適切な管理を行っている。個人情報や鍵の取り扱いには十分に注意し、持ち出しの際は、園長または主査に声をかけたうえ、持ち出し者名の記録をつけている。返却の際も同様に声かけと名簿チェックを行っている。</p> <p>杉並区個人情報保護条例に基づいて、個人情報の運営管理を行っている</p> <p>杉並区個人情報保護条例に基づいて、個人情報の収集・利用・管理を行っている。また、情報収集の目的・使用範囲などを明示し、個人情報の漏洩等の事故がないよう、その取り扱いに関して注意を徹底している。そのため、定期的に全職員で保育記録に関する情報管理の方法や危機管理について話し合いを行い、注意喚起を促している。保護者が保育記録の閲覧を希望する場合は「閲覧等申出書」を提出すれば可能である。保護者への写真データの貸し出しも、個人情報保護に基づいて手順が決まっている。</p> <p>個人情報の漏洩等の事故防止に努めている</p> <p>正規職員に対して、入職時の研修で区の個人情報保護方針などについて教育指導している。個人情報の漏洩等の事故がないように、職員会議などを通して、情報管理の方法や危機管理について話し合いを行っている。実習生・体験学習・ボランティアなどの受け入れにあたっては、活動初日のオリエンテーションで個人情報保護遵守について説明している。</p>			

カテゴリー8

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている  
 ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」  
 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」  
 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保育に対する考えや取り組みについて発信し、保護者との共育をすすめている

・閲覧用の保育課程、年間・月間指導計画綴りを玄関に置き、保育に対する考えや取り組みについて、機会を捉えて発信し、保護者との共育をすすめている。綴りに目を通す保護者の姿も見られている。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている  
 ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

園内研修を実施し、保育のスキルを深めている

・クラス便りや公開日誌を掲示することで、職員自身も他の人の文章を読み、表現方法やポイントの置き方などを参考にし、学びにつなげている。また、園長が連絡帳や日誌の記入内容に対する質問をすることで、職員が保育を振り返る機会を持てるよう取り組んでいる。その結果、お便りの作成や連絡帳記入の際に内容や書き方について工夫が見られている。  
 ・「乳幼児の靴」「障害児の発達」などをテーマに園内研修を実施し、保育のスキルを深めている。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている  
 ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」  
 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

職員会議の中で、保育の内容について話し合い、職員間の共有や意識化を図っている

・職員会議で保育の内容についての話し合いを持ち、職員間の共有や意識化を図っている。園庭遊びにおける環境(物的・人的)や時間について、異年齢児の関わり、かみつき、日誌や連絡帳の記入の仕方など、保育に深く関わる事柄について、互いの考えを知り、共有することができている。見通しを持って、保育をすることができている。

サブカテゴリ4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保育料収納率の向上に取り組んでいる

・区保育課として、給食調理用務業務の委託や指定管理制度による保育園の公設民営化によるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率の向上に取り組んでいる。調理用務業務委託については、平成28年度現在、公立園37園中24園で実施している。指定管理制度は平成28年度より1園増え、6園で導入している。また、保育料の収納率については、平成27年度で98.15%(対前年比0.22%増)となっている。

サブカテゴリ5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している  
 ・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者の要望を受け、対応策について検討し、保護者にフィードバックしている

・子どもの様子や日常の中での保護者との会話の中で、保護者の感想や質問などを聴くことができる。保護者の要望について、園で対応策を検討し、園だよりやクラス便りにて、要望内容や対応について保護者にフィードバックしている。



II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目		
サブカテゴリ-1			
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-1の講評			
<p>区のホームページや広報紙、情報誌などで情報提供している</p> <p>区のホームページ、広報紙、情報誌「保育施設利用のご案内」「杉並区保育施設MAP」などで情報提供している。ホームページの施設案内から、施設情報や保育目標、主な行事、見取り図、保育室内や遊んでいる子どもの様子を写真で見ることができ、園の特色として、屋外環境に恵まれていることや、散歩、リズム遊びで身体作りをしていることなどを挙げている。子育て支援事業「いっしょにあそぼ」の年間予定のお知らせを門に掲示している。園の夏祭りや運動会の時にも、門に行事のポスターを掲示している。</p> <p>区立直営園であり、区や関係機関と連携している</p> <p>区立直営園であり、保育課とは月報などのさまざまな情報交換をし、連携している。併設の高齢者向け施設(ゆうゆう館)は、総合避難訓練を一緒に行い、5歳児が年1回交流し、園の運動会や焼き芋会を周知している。地域の児童館主催の地域連絡会や小学校単位で行われている子育てネットワーク連絡会などに園長が参加し、メンバーの小・中学校や児童館、主任児童委員、町会など、子ども関係機関同士で情報交換をし、連携している。図書館には、夏祭りや運動会のポスターの掲示をお願いしている。</p> <p>見学日を決めているが、都合が合わない場合には個別対応して受けている</p> <p>見学日の年間計画を立てて、子育て支援事業「いっしょにあそぼ」の中でお知らせし、事業終了後の11時頃から実施している。日程の都合が合わない場合には個別対応をしている。1回に8~9組程度で、14組位になる時もある。案内は園長または主査が行い、見学者用の園のしおりに沿って説明してから、園を見学してもらっている。障害児指定園であることから、子どもの発達に心配がある保護者からの質問が寄せられることがある。</p>			
サブカテゴリ-2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当

<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<b>サブカテゴリー2の講評</b>		
<p><b>入園説明会を開催して重要事項や基本的なルールなどについて説明している</b>          入園内定者には2月下旬に健康診断と面接を実施して、事前に記入して来てもらった「家庭連絡票」、「児童票」などを基に、家庭や就労先の状況、保護者の要望などを聴いて保育時間を決めている。3月下旬の土曜日午前中に入園説明会を実施して、「園ご利用にあたって(重要なお知らせ)」や「阿佐谷北保育園のしおり」を配布して見てもらいながら、説明している。内容は、重要事項や園の概要、園の目標、保育目標、子どもの怪我や感染症、事故や災害の対応などを説明して、写真・ビデオ撮影の取り扱いについては同意書ももらっている。</p> <p><b>保護者の就労や子どもの状況により、徐々に保育時間を延ばしている</b>          面接時に、慣れ保育は子どもの状況により違いがあり、おおよそ1週間くらいであると保護者に伝え、保護者の慣れ保育への要望なども聴いている。0・1歳児の場合は入園初日は一緒に過ごして、昼食を食べさせてもらっている。保護者の就労や子どもの慣れる状況により、徐々に保育時間を延ばしている。なるべく同じ保育士が対応するようにして、子どもや保護者との信頼関係を早めに築くようにし、お迎えの時には、園での子どもの様子を詳しく伝えて安心してもらえるようにしている。</p> <p><b>転園・退園・卒園には、必要に応じて面談をして保護者の不安軽減に配慮している</b>          区立園へ転園する場合は、保護者の同意を得て児童票のコピーや健康カードを転園先に渡して、支援が継続できるようにしている。退園の場合は、新しい子育て環境に不安がないように、保護者に声かけをして、クラスの子もたちとメッセージカードを作成して渡したり、お別れ会を開いたりしている。卒園児の場合は保育所児童保育要録を小学校へ提出することを保護者に伝えている。学童クラブからも保護者の同意を得て、子どもの情報を聴きに來ることもある。就学への不安を抱えている保護者には個人面談をして、就学相談などを紹介している。</p>		
<b>サブカテゴリー3</b>		
<b>3</b>	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 <b>12 / 12</b>
<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 保育課程や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-3の講評

子どもの心身や生活の状況、健康状態などを、保育日誌や児童票などに記録している

入園前には園医による健康診断を実施して健康状態を把握し、「入園までの生活状況」などの提出書類に目を通して、子どもの心身の発達状況や成育歴、入園までの生活状況などを保育士が面接して確認し、「食事調査票」を基に食物アレルギーや離乳食の進み具合などを栄養士が聴いている。入園後は毎月の身体測定や年2回の定期健康診断、年1回の歯科健診、幼児対象の耳鼻科・眼科健診の結果は健康管理票や健康カードに記入し、日々の子どもの姿は保育日誌や保健日誌に記入している。児童票には、子どもの発達状況などを記入している。

指導計画は子どもやクラスの状況について振り返り、話し合って作成している

指導計画(月案)は担任同士で、年間保育指導計画を基に、子どもの姿やクラスの状況などについて振り返り、この先の見通しや配慮点、大事にしたいことなどを確認して作成している。乳児組では個別計画を作成し、特別な配慮が必要な子どもについては、期ごとに個別計画を作成している。0歳児クラスでは看護師も含めて子どもの様子について話をしている。毎月末に2日間の月案検討会を実施して、各クラスの月案について意見交換をしている。保護者には、玄関ホールに閲覧用の月案ファイルを置き、いつでも見てもらえるようにしている。

子どもに関する情報を共有するために、ミーティングなどの会議を開いている

子どもや保護者の状況の変化などの情報を共有する為に、月曜日～金曜日の昼間にクラス1名が参加してミーティングを実施している。内容は、子どもの状況(朝受けた保護者からの連絡、園での怪我や発熱など)、食物アレルギー確認、出席人数、延長保育人数、会議の有無、職員体制などについて、園日誌と園児名簿を片面ずつ利用したミーティングノートに記入している。その他に、週1回の定例会議では子どもの情報や保育の反省、行事の検討などとし、幼児・乳児打ち合わせも実施している。

サブカテゴリ-5		
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		標準項目の「あり」「なし」を選択してください 評点()
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和りとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(00000)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-5の講評		
<p><b>個人情報の保護や子どもの羞恥心への配慮をしている</b> 個人情報保護についての考え方を入園説明会で「重要なお知らせ」を基に説明している。写真やビデオの取り扱いについては文書を配布して説明し、同意を得ている。外部に子どもの情報を提供したり、療育機関や医療機関などへ同行する際には、事前に保護者の同意を得ている。また、子どもの羞恥心への配慮として、おむつ替えやおもろしの着替えなどは仕切りを設けた見えにくい場所で行い、プールやシャワーも外部から見えないように仕切りや目隠しをするなどの配慮をしている。</p> <p><b>保護者の価値観などは、話をよく聴き、可能な限り配慮している</b> 保護者の価値観や生活習慣などは、話をよく聴き園で対応できることは受け入れている。子どもが風邪をひきやすいので下着を長袖にして欲しい、虫刺されがひどくなりやすいので長袖を着せて欲しい、体質上の理由により特定の虫除け剤を使用して欲しい、日焼け防止にラッシュガードを着用したい、習い事をしているので早退するなどの申し入れは受けている。また、保護者に相談を受けた場合には、アドバイスや提案をするが、判断や決定は保護者自らしてもらうようにしている。</p> <p><b>「子どもへの関わり方について」の文書を配布して、意識を高めている</b> 日々気が付いたことがあれば、お互いに伝え合える職員関係を重視している。保育士の子どもへの声かけが大きすぎる時には、気づいた職員が声をかけている。「杉並区保育実践方針」をパート職員にも配布して、保育園で働く者としての心得などを伝えている。年度末に保育反省を出し合う中で、子どもの権利を守ることが大事であることを確認している。「子どもへの関わり方について」の文書を、パート職員を含む全職員に配布して意識を高めている。</p>		

## サブカテゴリ-6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況

11/11

## 評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

## 評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は改変の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

## 評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した保育ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-6の講評

区立保育園共通のマニュアルや園独自の保育マニュアルを整備している

区立保育園共通の「危機管理マニュアル」「保健マニュアル」などが整備されている。園独自の「保育マニュアル」を作成して、各クラスに1部ずつ置き、いつでも必要な時に確認できるようにしている。内容は、「当番の仕事」「スポット延長について」「怪我の対応」「かみつき、ひっかき」「散歩」「土曜日の保育」「会議の持ち方」「食物アレルギー児除去食献立打ち合わせの流れ」などである。

期末や年度末の反省時、あるいは必要に応じてマニュアルの見直しをしている

園の保育マニュアル類は、期末や年度末の反省に提案し、見直しをしている。随時見直す場合もあり、例えば、夕保育では子どもの成長や人数の増減などに伴い、パート職員の配置や合同保育になる時刻、使用する部屋について、気づいた職員や事務室からの提案により、話し合っで見直しをしている。必要に応じて、保護者に変更を伝えて戸惑わないようにしている。本来玄関の鍵は1か所施錠であったが、鍵を開けて出て行こうとした子どもがいたことから、直ちに2ロックに見直しをした事例もある。

園長や主査が保育に入り、話し合ったり一緒に考えたりして職員に助言している

主査が保育に入り、職員の状況を把握し、直接話をしたりアドバイスを行っている。気になることがある場合には園長に相談し、園長も保育に入り確認し、職員の意図や理由などを聴いて話し合ったり、一緒に考えている。例えば、乳児クラスは、小グループでの保育をしているが、1対数人の子どものグループでは負担感が大きいことが分かり、2人の保育士で数人の子どもを保育する小グループ保育に変更している。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ6-4)

		サブカテゴリ4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	
		35 / 35	
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>幼児クラスが縦割り3グループに分かれて活動する「ミックスデー」に取り組んでいる                      異年齢交流「ミックスデー」を月1~2回実施し、3・4・5歳児の縦割り3グループ活動をしている。毎年引き続きのグループで活動し、3歳児は運動会で一緒に活動したことをきっかけにして11月から参加している。活動内容は幼児組の打ち合わせで決めている。室内遊びやゲーム、ホールでの巧技台遊びやリズム遊び、散歩などであるが、3月には活動後に一緒に給食を食べている。この活動を通して顔見知りになっているので、園庭でグループの子どもと一緒に遊んだり、手を引いてやるなどの自然なかかわりが見られている。</p> <p>特別な配慮が必要な子どもに応じて、他の子どもと共に成長できるように援助している                      特別な配慮が必要な子どもも他の子どもたちと一緒に過ごせるように、その子に応じた援助している。幼児組に新入園児として来た子どもに対して、クラスの他の子どもが靴を履かせてあげようとするので、「～ちゃんはゆっくりだけど自分のできるよ、待ってあげてね」と、その子に必要な手伝いや関わり方を子どもたちに知らせている。子どもたちも次第に必要な手助けが分かり、その子の反応に合わせて手伝うようになり、仲間関係ができていく。保育相談員の巡回指導や専門機関と連携をして助言を受け、その子に応じた援助をしている。</p> <p>子ども同士のトラブルは子どもの気持ちをくみ取り対応している                      子どもの発達過程で見られるひっかかりや噛みつきなどの子どものトラブルは、言葉で自分の気持ちを伝えることが十分できないために起きることであり、子ども同士には「～したかったのね」などと子どもの気持ちをくみ取って言葉に代えることで、相手の思いや痛かったことなどを伝えている。保護者には、0・1・2歳児クラスの保護者会で年齢発達の子どもの姿として伝えている。園の対応は原則、どちらの保護者にも、状況を説明し保育中のことであり防げなかった園に責任がある事を伝えて謝罪している。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当

評価項目2の講評

登園時には子どもの健康観察をして、家庭での子どもの様子を保護者に聴いている  
 登園時には「おはようございます」と挨拶をして、子どもの顔色や機嫌などの健康観察をし、乳児組では連絡ノートの今日のページを開けて目を通しながら、保護者に家庭での子どもの様子など体調面を確認している。当番保育士が受け入れをする場合、各クラスが「視診表」に前日の発熱や怪我など子どもの様子を記入しているので、それらを見て保護者に聴き取りをしている。保護者からの伝言なども「視診表」に記入して、担任に引き継いでいる。「視診表」は保育中にはクラスに置き参考にしてはいる。当番終了後は事務室の鍵付棚に保管している。

子どもの生活習慣が身に付くように、家庭と協力しながら進めている  
 一人ひとりの発達の状態に応じて、生活習慣が身に付くように家庭と協力し合い、健康や食事面は専門職とも連携して取り組んでいる。1歳児クラスではおむつがぬれていない時にトイレに座ってみるなどして、トイレに興味をもたせ、排尿間隔が長くなってきた頃に、子どもの様子を伝えて保護者の意向も聴き、一緒にトイレトレーニングを進めている。お箸の指導は4歳児の後半には遊びの中で1対1や2で、担任が持ち方を指導している。家庭での使用状況も聴き、正しく持てる子どもから使用し、初めはスプーンなども併用しながら進めている。

お迎えの保護者には、連絡事項や日中の子どもの様子などを伝えている  
 お迎え時には「お帰りのさい」と挨拶して迎え、日中の子どもの様子や連絡事項を一人ひとりに伝えている。幼児組では、貼り出し日誌で日中の保育の様子を読んでもらっている。夕保育の当番保育士は、連絡事項や夕保育中の子どもの様子を伝えている。すり傷など園で処置をした時には担任から引き継いで伝えている。受診するような怪我をした時には、連絡を取り、受診後の報告を電話で済ませているが、お迎えの時間まで待って、担任や園長・主査、看護師が、怪我をした状況や受診時の様子や処置などについて伝えている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気づき、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもたちの活動が細切れにならないように、配慮している  
 子どもの活動が細切れにならないようにして、登園後に自由遊びを十分した後、10時頃からクラスの課題活動をしている。子どもたちの遊びが盛り上がっていた時などには配慮して、可能な場合には時間を遅らせたり、計画を変更するなどしている。4・5歳児には、一日の流れが分かるお知らせボードで今日の活動を知らせている。乳児組は小グループで活動して、一人ひとりの子どもの遊びや要求を受け入れやすく、待ち時間も少ないようにしている。

リズム遊びで身体を動かしたり、さまざまな表現活動にも取り組んでいる  
 1歳児～5歳児がリズム遊びを取り入れ、ピアノに合わせて体を動かして身体作りをしている。クラス単位でしたり、4・5歳児で一緒にしたりしている。1・2歳児では大人の動きをまねて体を動かして楽しんでいる。リズム遊びをすることで、体幹を鍛えたいと考えており、運動会では、リズム遊びの様子を保護者に見てもらっている。そのほか、泥んこ遊び、粘土や空き箱製作、描画、切り紙などの造形活動、季節の歌、楽器遊びなどさまざまな表現活動に取り組んでいる。

自然に恵まれた園庭で、季節の移り変わりなどを肌で感じて遊んでいる  
 広めの園庭には、樹齢200年のケヤキの木があり、新芽、若葉、木陰、紅葉、落葉など四季折々の様子を見せてくれる。ゆすら梅、金柑、姫リンゴ、夏みかんの木もあり、果実はままごと遊びの具材に使っている。園庭の畑では、子どもたちが栽培している野菜を観察し、味わうこともしている。さつまいもを収穫した後のつるを利用して、リース作りをしている。子どもたちは、ままごとや虫探し、泥んこ遊びなど自然に触れて遊んでいる。また、近隣には自然に恵まれた公園やアスレチックが楽しい公園などがあり、週1回程度は散歩に出かけている。



4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当
評価項目4の講評		
<p>季節の行事などは年齢に応じた取り組みをして、楽しんでいる</p> <p>春には、園庭に鯉のぼりが飾ってあるのを見て、鯉のぼり作りに取り組んでいる。5歳児ではグループ製作にし、4歳児では個人で製作し、うるこや眼、尾びれなど良く見て作り上げ、出来上がった鯉のぼりを飾り、満足そうな様子であった。7月の夏祭りでは、毎年5歳児がハッピに豆紋り姿で、自分たちで作ったお神輿を担いで、園庭の練り歩きをしている。小さい子どもたちにとって、憧れの対象になっている。</p> <p>運動会では、皆で力を合わせて、エイサーやバルーンに取り組んでいる</p> <p>10月にはルンルンフェスティバル(運動会)を実施している。5歳児は民舞のエイサーに取り組み、踊りで使う太鼓も手作りして披露している。4歳児はバルーンに取り組んだが、最初の頃はバルーンに触るだけで嬉しかった子どもたちが、次第にバラバラに動かすのではなく皆で力を合わせて動かすときれいに見えることが分かるようになり、5歳児に見本を見せてもらおうなどして、皆と一緒に動かす経験をし「皆で力を合わせたら楽しかった」と感じるようになり、本番では音楽に合わせてきれいなバルーンを披露し、たくさん拍手をもらっている。</p> <p>保護者の参加行事を分かりやすく表示した年間保育予定表で知らせている</p> <p>「園全体で取り組む行事」「各クラスの年齢に合わせて行う保育」「保護者会・個人面談」「保健行事」に項目立てした年間保育予定表を配布し、保護者に予定してもらいたい行事を分かりやすく伝えている。行事に向かって取り組んでいる子どもたちの様子を、日々の貼り出し日誌で読んでもらったり、月1回以上発行しているクラスだよりでは時系列で具体的に子どもの様子を伝えて、楽しみにしてもらえるようにしている。保護者参加行事は、お知らせやご案内なども配布している。</p>		
5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>体を休めるソファを用意したり、部屋の仕切りを変えて落ち着いて遊べるようにしている</p> <p>17時以降の夕保育では、4・5歳児は一緒に過ごし、他のクラスは各クラスで過ごしている。17時45分頃に0・1歳児が一緒になり、18時過ぎには幼児組の合同保育になっている。疲れてきた子どもが寄りかかって身体を休めることができるように、5歳児室にはソファを用意している。ままごとや絵本のコーナーで、一人で遊んだり絵本をみて過ごしたりできるようにしている。子どもの遊びの状況に合わせて、部屋の仕切りを変更して、落ち着いて遊べるようにしている。</p> <p>1歳児ではお迎え時に保護者の顔が見えないようにレースのカーテンをかけている</p> <p>1歳児室は遊んでいる子どもの意識が散らないように、レースのカーテンを掛けてお迎えの保護者の顔がわからないようにしている。また、合同保育になった時には子どもの年齢に合った玩具を他の部屋から持ち込んだり、人数が減った時に使う玩具や1対1で遊ぶような玩具を出したりして、子ども同士で遊んだり大人も一緒に遊び、寂しい思いをしないようにしている。</p> <p>延長保育は、顔見知りになっている子どもたちの自然な異年齢交流の場になっている</p> <p>18時30分から延長保育になるが、12月現在の利用は、スポット保育も含めて多い日で15名くらいである。異年齢でも顔見知りで良く知っているのも、2歳児室のままごとコーナーなどで兄弟のような雰囲気の中で遊んでいる。年下の子どもの世話をしあげたり、年上に憧れて真似をしたりして遊び、同じくらいの時刻にお迎えの場合には、「一緒に帰ろう」などと声をかけあったりしている。</p>		

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

安定して座り、落ち着いて楽しく食事ができるようにしている

乳児組の保育室は、食事のスペースを玩具棚や衝立などで仕切って確保している。どの年齢でも椅子の脇や背、座面などに小型に切ったお風呂マットのクッションや足台などを用意している。0歳児クラスでは、腰の安定具合によっては股止め付きの椅子を使用するなどして、安定して座って食べられるようにしている。食事の介助はできるだけ同じ人がつくようにしている。また、給食は、季節の行事に合わせて、七夕には天の川そうめんやきらきらゼリー、ひな祭りにはちらし寿司やひな祭りゼリーなどの献立にして、楽しく食べられるようにしている。

給食は区立園共通の献立で、旬の食材で自然の美味しさを生かし、園で手作りしている

給食献立は区立保育園共通のもので、栄養バランスがとれた給食を、園で手作りして提供している。旬の食材を使って、煮干しや昆布、鰹節などで出汁をとり、自然の美味しさを味わえるようにしている。食の安全に留意して、食材産地や給食実物展示をしている。食物アレルギー児には食物除去申込書を提出してもらい、除去食や代替食を提供している。前月末と前日にアレルギー確認をし、当日の配膳時には調理室と担任間で確認し、他児と接近し過ぎない固定した位置に席を設け、トレー配膳した食事を食べて、誤食防止に努めている。

野菜栽培や食材の下処理経験、調理保育などの食育活動をしている

園庭の畑で、子どもたちも一緒に苗植えをしたり水やりをしたりして、きゅうり、枝豆、かぼちゃ、ラディッシュ、さつまいも、とうもろこしなどの野菜を育てている。花が咲き、実がなるのを楽しみに観察し、収穫して採れたてを調理してもらい、食べている。苦手な物でも食べるきっかけになっている。幼児組では、給食食材のグリーンピースやそら豆などのさやむきやとうもろこしの皮むきなどの、下処理経験をしている。調理活動は4・5歳児がラップを使っておにぎり作りをし、5歳児はクッキー作りもしている。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

自分の健康や危険などに関心が持てるように、知らせている

自分の体調の変化に鼻付くように指導している。お腹が痛くて泣いている時などには、「お腹痛いって言うんだよ」と声をかけている。咳や鼻汁が出た時には、鼻のかみ方を知らせている。遊ぶ時には、身体の使い方、危険認知などを知らせている。ジャングルジムに1歳児が登ろうとする時には、「大きくなってお兄さんになったらやるうね」、3歳児くらいでは「しっかり握ってね」などと声をかけている。先回りして危ないことを知らせるのではなく、子どもが自分で試せる余地も残しながら、危険について指導している。

医療機関などと連携し、子どもの健康管理をしている

医療的ケアの必要な子どもは在籍していない。薬の預かりは原則していないが、健康的な日常生活ができない場合に限り、主治医の処方薬の抗けいれん剤や保湿剤を預かっている。保湿剤使用の子どもには毎日昼寝前に塗布している。与薬申込書を提出してもらい、半年に1回の見直しをして預かっている。また、小児科医の園医は年2回の定期健診及び月2回の0歳児健診で子どもの健康に関する相談をして助言をもらっている。専門医による年1回の歯科健診、幼児組が対象の耳鼻科・眼科健診を実施して子どもの健康管理をしている。

子どもの健康維持に関する情報を保護者に提供している

保健だよりを毎月発行して、登園時の健康観察のチェックポイント、生活リズムを整える、虫刺され対策、爪切りについて、鼻血やすり傷・切り傷対策など、健康維持に役立つ情報を提供している。感染症の情報は、玄関の掲示板で、早めに保護者に提供している。園で感染症が発生した時には、病名、潜伏期間、主な症状などを記載して情報提供している。乳幼児突然死症候群(SIDS)のポスターを0・1歳児室の保護者の目に留まる場所や園の玄関などに掲示している。園では2歳までの子どもの午睡時チェックを実施している。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

保護者の就労や家庭の事情などには申し出てもらい、柔軟に対応している

保護者の就労や家庭の都合などは申し出てもらい、可能な限り柔軟に対応している。連絡帳や登降園時の保護者との会話などから、保護者の気持ちをくみ取るように心がけている。保護者が残業などでお迎えが遅くなる場合には、連絡をもらい、18時30分以降はスポット保育で受けている。登園時に保護者からもらった情報は、昼間に実施しているミーティングで報告し職員間で共有している。家庭の事情でお迎えの人が変更になった場合は、連絡をもらって対応している。定期以外の土曜日保育の申し出も、必要な保育時間を確認して受けている。

保護者会では保護者同士の懇談の場を設けて交流できるようにしている

保護者会は年2回実施し、1回目にはクラスの保育目標や年齢発達の子どもの姿などを伝え、保護者同士の懇談の時間を設けている。懇談では、事前アンケートでテーマを募集するなどして、保護者が育児で困っていることなどをグループ討議したりしている。2回目には、年間の保育の様子と子どもの成長した姿や今後の予定、進級についてなどを伝え、懇談を持っている。夏祭りや運動会は保護者参加行事であり、保護者同士の交流の機会になっている。父母会があり、クラス毎の交流会が行われている。

個人面談や保育参加・参観などで、園の保育を知ってもらうようにしている

個人面談は期間を決めて年1回実施しているが、都合が合わない場合には別日でも、夕方の時間でも対応している。保育参加・参観は随時受け付けているが、1歳児クラスでは、保育参加と個人面談のセットを勧めて参加してもらっている。保護者会に不参加の人には個別に伝えた上で、クラスだよりなどに掲載して共有している。また、1回目の保護者会の時に給食試食会も実施し、保護者からは「こんなにたくさんを食べていたのか」、「薄味だけど美味しい」などの感想が寄せられ、子どもの苦手な物の食べさせ方などの質問が寄せられたりしている。

## 9 評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが地域の資源を利用し、多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

## 評価項目9の講評

図書館を利用したり、高齢者向け施設(ゆうゆう館)と交流したりしている

5歳児が2か月に1回、地域の図書館を利用して絵本を読んだり、自分たちの好きな絵本を借りたりして、図書館の利用の仕方や「館内は大声を出さない」などの図書館利用のルールなどを学んでいる。併設の高齢者向け施設(ゆうゆう館)と交流している。地域の小学校には、学芸会や学校見学に行かせてもらっている。

夏祭りとルンルンフェスティバル(運動会)には地域に参加を呼び掛けている

園の夏祭りやルンルンフェスティバル(運動会)には、地域の人にも参加を呼び掛けて、ポスターを掲示している。7月の夏祭りには、卒園児のいる学童クラブに手紙を届けたり、郵送したりして卒園児を招待しており、地域の方5~6組の参加があった。運動会は、今年は雨天のため、地域住民の参加はなかったが、園児の保護者や祖父母、兄弟、卒園児などの参加があった。

子育て支援事業「いっしょにあそぼ」を年間8~9回実施している

子育て支援「いっしょにあそぼ」は年間8~9回、第3水曜日に看護師と担当の保育士で実施し、園庭や室内で遊んだり、6・9月には泥んこ遊び、7月には水遊びを企画している。園庭開放と地域向けの身体測定、子育て相談も実施している。現在の参加状況は1~5組程度である。9・10月の「いっしょにあそぼ」の日は11時から園内見学を実施している。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル①	保育環境の充実に力を入れて取り組んでいる	
内容①	保育室では、子どもの年齢や興味などに合った玩具や絵本、教材などを用意して、ままごとや絵本、積み木遊び、机上演習、製作遊びなどのコーナーを作り、子どもが落ち着いて遊べるようにしている。幼児組では、積み木や小型のブロックなどは遊びの継続ができるように、置いておく場所も用意して、週末には片付けるようにしている。利用者アンケートの結果では、「園の活動が心身の発達に役立っている」97%、「興味関心をもって行えるものになっている」99%と大変高い評価を得ている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル②	子どもたちが見通しを持って、主体的に生活したり遊んだりできるようにしている	
内容②	乳児組では、小グループ活動にして、大人とのかかわりの中で子どもが遊びたい遊びができるよう、きめ細かに援助し、子どもの主体的活動を保障するようにしている。幼児組では、登園後の自由な遊びの時間を多めに取り、子どもたちの活動状況に合わせて、子どもたちとも相談しながら、変更が可能な時には予定の課題活動を見直したりしている。また子どもたち自身が見通しをもって生活できるように、物の置き方を一定にしたり、一日の生活の流れを同じにしたり、4・5歳児では予定をホワイトボードで知らせるなどしている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル③	保護者との「共育て」を目指し、保護者への情報提供に取り組んでいる	
内容③	職員は、子どもたち個々の家庭の状況をふまえ、考えや思いを尊重しながら相互の持つ情報を共有しようと意識しており、「共育て」を目指し積極的な働きかけを行っている。保護者からの要望や課題に対しても、真摯に受け止め改善しようとする姿勢がある。利用者調査において、「保育内容の説明」に関して、回答者の88%が満足との返答で、高い満足を得ていた。また、「お迎え時、いつもその日の様子を丁寧に話してくれる」などのコメントが寄せられていた。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	自然豊かな園庭で、子どもたちが可動遊具などを使ってのびのびと遊んでいる
	内容	園庭には、樹齢200年のシンボルツリーの榎があり、木陰で遊んだり、落葉で遊んだりしている、滑り台、ジャングルジム、鉄棒、ブランコ、木の小屋などの固定遊具のほか、タイヤやマルチパーツ、組み合わせマット、お風呂マット、縄、ポックリなどの可動遊具などを子どもの手の届くところに用意して、自由に使い、自分の想像力を働かせて、組み立てて遊べるようにしている。丸太を並べて置いてあり、子どもがままごとのテーブルなどにして使っている。
2	タイトル	行事の神輿作りで、皆で協力して作り上げ、やり遂げた喜びを味わっている
	内容	夏祭りには、5歳児が前年の年長組の取り組みを思い出して、「お神輿作りをしよう」ということになり、どんなお神輿にするか皆で意見を出して話し合った。車の神輿やリボンの神輿などさまざまな意見が出され、これらの意見の一つにして決めるにはどうすれば良いかを子どもたちで話し合った上で、皆の意見を盛り込んだお神輿を作ることになった。当日は、ハッピーを着て豆絞り姿で神輿を担ぎ、子どもたちにとっては、皆で協力して作り上げた満足の日になった。
3	タイトル	子どもの主体的な遊びを保障する環境作りを目指して、職員のチームが取り組んでいる
	内容	子どもが主体的に遊ぶことにポイントを置いて、職員が環境プロジェクトチーム、保育の向上リーダー、主査が中心となり、園庭や保育室の環境作りや玩具選び、乳児の少人数保育の取り組みについて検討したり、問題提起をしたりしている。子どもたちの遊びの広がりを考えて可動遊具の置き場を検討したり、子どもたちに経験させたい遊びから必要な遊具類を選ぶなど、子どもの遊びが豊かになるように取り組んでいる。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	リズム遊びが園の保育の特長になるように、リズム遊びの計画作成を期待する
	内容	リズム遊びに力を入れ、ピアノに合わせて身体を動かして遊び、体幹を鍛え維持していけるよう、1歳児から5歳児まで取り組んでいる。クラス単位でしたり他のクラスと一緒にしたりして、運動会で披露している。今後は園で力を入れている取り組みとして、リズム遊びの計画の作成を期待する。このことで、ねらいと具体的な取り組みが明確になり、継続することによって、園の保育の特長になると思われる。
2	タイトル	地域との交流の機会を増やす取り組みを期待する
	内容	地域との関わりでは、併設の高齢者向け施設(ゆうゆう館)や小学校と交流し、地域の図書館の利用も行っているほか、園行事の夏祭りと運動会に地域の人に参加してもらっている。今後は、地域行事へ参加したり、地域の人に保育活動に参加してもらおうなどして、地域との交流の機会を増やす取り組みの構築を期待する。
3	タイトル	リスク対策のさらなる充実を図るため、ヒヤリハット用紙や安全チェックリストなどを活用が望まれる
	内容	園内の小さなリスクについては、気づいたときに昼ミーティングで報告し、園日誌にも記録し、職員間で情報共有している。環境プロジェクトを中心に、園庭・保育室の安全点検を行っている。また、他園のヒヤリハット事例を共有し、自園で類似事故が起きないように留意している。しかし、園舎内・園庭での安全確認は目視であり、ヒヤリハットも園日誌に記録しているが、その分析の記録は十分とは言えない。リスク対策のさらなる充実を図るため、ヒヤリハット用紙や安全チェックリストなどを活用が望まれる。

# 7. 永福北保育園

[ver.2]

調査対象

平成29年10月の配布時点で利用している在園児96名の保護者88世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。

利用者総数  
 利用者家族総数(世帯)  
 共通評価項目による調査対象者数  
 共通評価項目による調査の有効回答者数  
 利用者家族総数に対する回答者割合(%)

96
88
88
73
83.0

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者:「父」8名(11%)、「母」59名(81%)、「父母一緒に」5名(7%)、無記入1名(1%)。  
 ・総合的な感想は「大変満足」32名(44%)、「満足」38名(52%)、「どちらともいえない」3名(4%)で、「大変満足」「満足」と返答した方々は回答者の96%で、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。  
 ・回答者の90%以上が「満足」と返答し、非常に高い満足を得ていた設問は、問1「心身の発達に役立つ活動」、問2「興味や関心の持てる活動」、問3「食事」であった。  
 ・総合的な感想では、「アットホームな雰囲気。他保育園にも通ったことがあります。一番保護者に寄り添ってくれる園だと思う」「園児一人ひとりの成長をきちんと見守ってくれているのが伝わる」「成長に合った対応、食事を提供してもらっている」などのコメントが記入されていた。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	72	1	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の99%で、心身の発達に役立つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは「子ども同士の集団生活が、子どもの発達に役立っている」などのコメントが記入されていた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	67	5	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の92%で、興味や関心を持てる活動に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「何をやるにしても、子どもにしっかりと説明をしてくれている」などのコメントが記入されていた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	68	5	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の92%で、興味や関心を持てる活動に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「何をやるにしても、子どもにしっかりと説明をしてくれている」などのコメントが記入されていた。				



4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	63	8	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の92%で、興味や関心を持てる活動に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「何をやるにしても、子どもにしっかりと説明をしてくれている」などのコメントが記入されていた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	50	5	3	15
「はい」と返答した方々は回答者の68%、「どちらともいえない」7%、「いいえ」4%、非該当21%であった。「はい」と返答された方からは「職員の誰が電話に出ても、きちんと対応してくれる」などのコメントが記入されていた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	53	17	2	1
「はい」と返答した方々は回答者の73%で、安全対策に関して高い満足を得ている。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	47	19	6	1
「はい」と返答した方々は回答者の65%、「どちらともいえない」26%、「いいえ」8%、非該当1%であった。「はい」と返答された方からは「保護者参加の行事日程は、年間スケジュールが提示されているため、平日でもあらかじめ調整でき参加しやすい」、「どちらともいえない」と返答された方からは「年間スケジュール以外の行事については、もっと余裕をもって事前にわかるとありがたい」などのコメントが記入されていた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	61	11	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の84%で、家庭と保育所との信頼に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「子どものことをよく把握し、親の状況もよく理解し対応してくれる」「担任以外の先生ともコミュニケーションが取れ、よく見てくれている」「子どもの家庭での様子を(先生に)話したり、先生から園の様子を聞くことができる」などのコメントが記入されていた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	57	14	1	1
「はい」と返答した方々は回答者の78%で、施設内の清掃、整理整頓に関して概ね満足を得ている。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	58	12	2	1
「はい」と返答した方々は回答者の79%で、職員の接遇・態度に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「先生方はいつも笑顔で接してくれている」などのコメントが記入されていた。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	61	9	1	2
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「看護師もいるので安心」などのコメントが記入されていた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	50	10	2	11
「はい」と返答した方々は回答者の68%、「どちらともいえない」14%、「いいえ」3%、非該当15%であった。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	64	6	0	3
「はい」と返答した方々は回答者の88%で、子どもの気持ちの尊重に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「先生方は子どもの気持ちを尊重し、同じ気持ちで子どもに向き合っていると思う」などのコメントが記入されていた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	54	12	1	6
「はい」と返答した方々は回答者の74%で、プライバシー保護に関して概ね満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	62	10	0	1
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	54	9	0	10
「はい」と返答した方々は回答者の74%で、不満や要望への対応に関して概ね満足を得ている。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	21	10	14	28
「はい」と返答した方々は回答者の29%、「どちらともいえない」14%、「いいえ」19%、非該当・無記入38%であった。「わからない」（非該当）と返答された方からは「職員以外の人に相談する事柄がまだ発生していない」などのコメントが記入されていた。				

I 組織マネジメント項目 (カテゴリー1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 9/9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <span style="float:right"><input type="radio"/>非該当</span>

カテゴリー1の講評

保護者及び職員に「重要事項」「園のしおり」を配布し、理念などについて周知している

保護者及び職員に「重要事項」「園のしおり」を配布し、保育理念・保育方針・保育目標について説明し、確認し合っている。また、重要事項は玄関にも掲示。保育目標は事務所に張り出し、いつも目に触れるようにしている。年間指導計画の作成時及び反省時、職員間で保育理念・保育方針・保育目標に立ち戻って、検討している。入園説明会・クラス保護者会などでも、「杉並区保育実践方針」も含め、園で大切にしていることを、園長から保護者に伝えている。3月末の職員会議や4月に異動してきた職員や新人職員に対しても、同様の説明をしている。

園長・主査それぞれが園運営計画を作成し、職員全員に説明している

年度初めに園長・主査それぞれが園運営計画を作成し、職員全員に配付し、説明している。園運営計画には、[園運営][子どもとの関わり][保護者との関わり][他機関・地域との関わり]などの項目ごとに、今年度取り組みべく内容を記載している。日々の職員・子ども、保護者対応において常に運営計画を意識して行動している。他方、杉並区では、園長・主査・向上リーダー2名を保育の向上促進の4本柱と位置づけ、定期的に向上リーダーが参加する「保育の向上を考えるリーダー会議」を開催し、保育の質向上を図っている。

昼の定例打ち合わせ(週1回)などで、園の重要案件について検討している

「係分担表」などを作成し、職員個々の役割と責任を明確化している。昼の定例打ち合わせ(週1回)・夜の職員会議(月1回)で、園の重要案件について検討している。会議欠席者には、同じクラスの職員が議事内容や決定事項を伝えたり、会議録を事務室に置くなどして、情報共有の徹底に努めている。保護者に対しては、張り出し日誌や掲示だけでなく、「園だより」に園の取り組みや決定事項を掲載し、保護者に迅速・丁寧伝えている。

カテゴリー2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人々に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している 評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている 評点(〇〇)		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

職員用の「園のしおり」を作成し、職員へ守るべき事項を周知している

職員用の「園のしおり」を作成し、各クラスに配付している。「永福北保育園年度初め確認事項」を作成し、「保護者との情報共有」などについて掲載している。そこには、「朝、夕の送迎時にはコミュニケーションをとるように心がける(一言運動)」などと明示し、職員へ周知している。区主催の新任研修で人権や接客ビジネスナーなどを学ぶほか、園内研修の事例検討などを通して、子どもへの関わりや保護者対応への意識を高め、保育の振り返りの機会としている。

近隣小学校の「赤ちゃん授業」に園長などが参加し、園の専門性を地域に還元している

週2回、園庭開放を実施し、近隣小規模保育施設の園児との交流が行われている。その際に、看護師が身体測定を行っている。看護師はまた、近隣親子の育児相談にも対応している。夏祭り・運動会に地域の未就園児も参加している。見学者も多く、訪問調査時点で、今年度、約100名ほどが来園している。また、近隣小学校の「赤ちゃん授業」に園長・看護師・保育士が参加し、園の持つ専門性を地域に還元している。

ボランティアの受入れ体制を整え、受け入れ時に個人情報保護遵守について説明している

区保育課作成の「杉並区保育実習生受け入れ手順」や、「保育園で実習、職場体験、インターンシップ、ボランティア、福祉体験をする方へ」を活用し、ボランティアの受入れ体制を整えている。当園では、主査がボランティア担当となっており、「保育園で知り得た情報は、絶対に口外しないでください」「写真撮影も禁止です」など、書面を使って、受け入れ時に個人情報保護遵守について説明している。夏季に中・高・大学生の職場体験、高校生のインターンシップなどを受け入れている。

カテゴリー3

3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用

サブカテゴリー1(3-1)

利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している

サブカテゴリー毎の  
標準項目実施状況

8/8

評価項目1

利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む)

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー3の講評

保護者に対して、入園説明会・保護者会などで苦情解決制度について説明している

保護者に対して、入園説明会・保護者会などで苦情解決制度について説明している。苦情解決に関するポスターを掲示し、保護者に周知している。保護者に対して気軽に意見を言ってもらえるような雰囲気づくりに努めている。連絡帳や日々の保護者とのコミュニケーションを通して、保護者の苦情・意向の把握に努めている。連絡帳を使っていない幼児クラスの保護者には「連絡メモ」を配布し、意見を言ってもらっている。保護者から連絡メモもらった際は、各種打ち合わせなどで対応を検討している。

個人面談・保護者会で保護者の要望を聴き取り、対応策について検討を重ねている

個人面談・保護者会で保護者の要望を聴き取り、その内容と対策について、各会議・打ち合わせで検討を重ねている。行事(運動会)実施後、アンケートを行い、保護者の意向や意見を把握している。その結果を集約し、「園だより」で保護者に周知している。年度末、年1回、父母会アンケートからの要望に書面で回答し、父母会総会にも園長が出席し、各クラスごとの意見要望を聴いている。

地域懇談会などに参加し、保育に関する情報を収集している

「あり方検討会」で今後の杉並区の公立保育園のあり方について検討しており、園長会などを通して現場の意見も伝えている。区の計画で決まったことは、できるだけ早く保護者に伝えるようにしている。児童館、小学校などが参加する地域子育てネットワーク連絡会や、地域行政連絡会、区内の認可保育園・認証保育所・杉並区立子供園などの保育関係施設の長が集まる杉並区内保育施設地域懇談会に参加し、保育に関する情報を収集している。新聞記事などで保育関係の情報があれば、ミーティングで職員間に周知している。

カテゴリー4

4 計画の策定と着実な実行

サブカテゴリー1(4-1)

実践的な課題・計画策定に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の  
標準項目実施状況

11/11

評価項目1

取り組み期間に応じた課題・計画を策定している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 年度単位の計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	○非該当

評価項目2

多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	○非該当
●あり ○なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	○非該当

評価項目3

着実な計画の実行に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にしている	○非該当
●あり ○なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当



サブカテゴリー2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の  
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(0000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー4の講評

園の組織目標を策定し、その目標達成に向けて取り組んでいる

区保健福祉部・保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、「目標シート」に園の組織目標を策定している。「目標シート」には、目標や具体的な取り組みを定め、その目標達成に向けた実行体制を整え、その実践に向けて取り組んでいる。半期ごとに振り返り、反省・評価を行い、進捗管理を行い、年度末に実行状況をまとめ、次年度の計画に活かしている。また、保育計画に関しては、週ごと・月ごと・半期ごと・年度末に計画の反省を行い、次年度の計画に活かしている。

年4回、「安全点検チェック表」を使って、各保育室などの安全点検を行っている

日常に潜む小さなリスクについては口頭で報告し、昼ミーティングで職員間で共有し、相互に再発防止に向け注意喚起している。環境プロジェクトが中心となり、定期的に遊具や室内環境について点検し、必要な場合は改善している。また、年4回、「安全点検チェック表」を使って、園庭・ホール・各保育室の安全点検も行っている。毎週、保健所に感染症の状況について報告している。感染症についてはマニュアルも用意しているが、毎年、嘔吐処理方法などの研修を実施し、看護師がパート職員にも伝えて、誰もが迅速に対応できるようにしている。

さまざまな時間を想定し、毎月1回、避難訓練を実施している

職員の配置が薄い朝夕保育時や散歩時、水遊びなどのさまざまな時間を想定し、毎月1回、避難訓練を実施している。年1回、消防署職員が来所し、水消火器の使い方や通報訓練などを行い、さらに救急法、心肺蘇生について学んでいる。実施後、反省をし、次回に活かしている。また、助言・アドバイスもいただいている。年2回、防犯訓練を実施し、不審者らしき人物を確認した際、子どもたちを速やかに避難させる訓練も行っている。

カテゴリ-5

5 職員と組織の能力向上

サブカテゴリ-1(5-1)

事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる サブカテゴリ-毎の標準項目実施状況 8/8

評価項目1  
事業所にとって必要な人材構成にしている 評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2  
職員の質の向上に取り組んでいる 評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-2(5-2)

職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる サブカテゴリ-毎の標準項目実施状況 7/7

評価項目1  
職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる 評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 職員のやる気向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が運動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-5の講評		
<p>区の「目標申告制度」に基づいて、職員個々が仕事目標を明確にして業務にあたっている</p> <p>区の「目標申告制度」に基づいて、職員個々が仕事目標を明確にして業務にあたっている。年2回以上、正規職員が園長と面談を行い、目標への達成度を振り返り、職員のやる気向上を図っている。また、パート職員に対しても、年1回、個別面談をしている。人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を行っている。クラス担当を決める際は、職員全員にクラス担任の配置案やその理由を書いてもらい、自分の希望だけでなく、園全体の職員配置を考え、全員で決めることで、全職員が納得してもらうよう努めている。</p> <p>園内研修を通して、職員の気づきを促し、主体的な学びの機会を設けている</p> <p>保育課や人材育成課の行う研修等に参加し、必要な知識や資格の習得に向けた計画を策定している。研修報告等により、職員の研修への取り組み等の確認を行っている。また、園内研修を通して、職員の気づきを促し、主体的な学びの機会を設けている。たとえば、グループに分かれて、「小さな疑問」「今さら聞けない保育のこと」などについて付箋に記載し、職員皆でその対応について意見交換している。保育の事例検討も実施し、保育の振り返りを行い、「杉並区立保育実践方針」を身近に学んでいる。</p> <p>夏休暇や有給休暇の取得を奨励し、職員の心身の健康に配慮している</p> <p>パート職員も含めた全職員に対して個別面談を実施し、仕事の悩みや不安に耳を傾けている。保育園長・主査を中心に就業状況を把握し、夏休暇5日に、さらに2日を追加した休暇や有給休暇の取得を奨励している。超過勤務は、夜の職員会議や月案の討議、クラス便りの作成、行事の準備などである。昼休憩は順番に取れている。ストレスチェックを実施し、高ストレスの職員は産業医に面談できるようにしている。育休中の職員も2名いて、出産・育児により仕事が中断しないような職場環境が整えられている。</p>		

7		カテゴリ7	
情報の保護・共有		サブカテゴリ1(7-1)	
情報の保護・共有に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・保管している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 個人情報、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている		<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ7の講評			
<p>杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている</p> <p>杉並区の「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている。情報セキュリティ対策基準(部外秘)によりアクセス権等の設定をしている。区で定めた文書保管期間に基づき、保存年限を過ぎた文書等の廃棄を行うなど、記録類の適切な管理を行っている。園の紙ベースの情報やメモリーカードの保管は、課の指示のもと鍵のかかる場所で保管している。記録類などの個人情報を棚から持ち出すときは、持ち出しチェック表を使って出し入れを管理している。</p> <p>杉並区個人情報保護条例に基づいて、個人情報の運営管理を行っている</p> <p>杉並区個人情報保護条例に基づいて、個人情報の収集・利用・管理を行っている。また情報収集の目的・使用範囲などを明示し、個人情報の漏洩等の事故がないよう、その取り扱いに関して注意を徹底している。そのため、定期的に全職員で保育記録に関する情報管理の方法や危機管理について話し合いを行い、注意喚起を促している。保護者が保育記録の閲覧を希望する場合は「閲覧等申出書」を提出すれば可能である。保護者への写真データの貸し出しも、個人情報保護に基づいて手順が決まっている。</p> <p>入職時の研修で区の個人情報保護方針などについて教育指導している</p> <p>正規職員に対して、入職時の研修で区の個人情報保護方針などについて教育指導している。「永福北保育園年度初め確認事項」に個人情報の取り扱いについて詳細に記載し、パート・アルバイトも含む全職員に配付、説明している。実習生・体験学習・ボランティアなどの受け入れにあたっては、受入手順書を作成し、活動初日のオリエンテーションで、園長・主査が、活動中に知り得た個人情報について、活動中・活動後も第三者に漏らさないことを説明している。</p>			

カテゴリー8

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」
- ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」
- ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

小学校教育への円滑な接続に向け、小学校との連携を強化している

- ・職員会議の開催にあたっては、事前にアンケートを実施し、より討議を深めることができた。また、年間指導計画、検討会議、前期反省、年間指導計画反省のときに、他クラスの計画についてもコメントに付箋をつけるなど、自分の意見を持って参加できるよう、十分な事前準備をして討議し、効率的効果的な会議運営を図っている。
- ・夜の職員会議の際に、新しくなった保育所保育指針についての学習も取り入れ、職員の理解促進を図った。
- ・小学校教育への円滑な接続に向け、これまで交流してきた小学校だけでなく、他小学校とも連携を強めることができた。子ども同士の交流に加えて教師の保育園見学、保育園1日体験も実施し、互いに子どもへの理解を深めることにより、効果を上げている。
- ・防犯対策のため、保護者に名札カードを配布し、着用してもらっている。声かけ週間などを設定し、声かけ運動を周知したことにより、着用率が向上し、危機管理に取り組んでいる。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

事例討議を行うことで、保育のスキルアップにつながっている

- ・「杉並区立保育園保育実践方針」を読み合い、事例を出し合い、討議して次の保育に活かしている。具体的な事例の討議を行うことで、「保育で大切にしていること」を職員皆で確認することができ、保育のスキルアップにつながっている。
- ・研修受講後、できる限り翌日に研修報告を行っている。また、職員会議の中でも、職員の学習として取り上げられることもあり、職員全体での共有化ができています。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている

- ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」
- ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

連絡帳の渡し間違えが起きないように手順を見直し、その結果、間違えがなくなった

- ・園庭環境やホールの朝夕保育の環境作りを工夫したことで、子どもの外遊びが広がるようになり、ホールでは朝夕保育で、子どもたちが落ち着いて遊ぶようになっている。
- ・特に個人面談の午前中に保育参加への声かけを行ったところ、乳児クラスではほとんどの保護者が午前中に保育参加をし、当園の保育の理解促進が図られている。
- ・連絡帳の渡し間違えが起きないように手順を見直し、連絡帳を袋に入れずに直接保護者に手渡すことにした。その結果、間違えがなくなった。また、夏季水遊びのための健康チェック表に関しても、手渡しすることで、記入漏れがわかり、保護者にその場で口頭で確認できるようになった。
- ・療育施設と併用している子どももいるが、担任を中心として、その子どもも仲間として職員皆で支えており、一人ひとりの子どもを尊重する姿がある。

サブカテゴリ4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保育料収納率の向上に取り組んでいる

・区保育課として、給食調理用務業務の委託や指定管理制度による保育園の公設民営化によるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率の向上に取り組んでいる。調理用務業務委託については、平成28年度現在、公立園37園中24園で実施している。指定管理制度は、平成28年度より1園増え、6園で導入している。また、保育料の収納率については、平成27年度で98.15%(対前年比0.22%増)となっている。

サブカテゴリ5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している  
 ・カテゴリ3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者の意向を受け、改善できることはすぐに実行に移している

・年度末の父母会アンケートや運動会後の感想に挙がっていた保護者の意見について、職員間で話し合い、改善できることはすぐに実行している。たとえば、「1年間同じ布団を使いたい」との意向を受け、乳児クラスから番号制を導入していくことにした。  
 ・園庭開放を実施し、近隣小規模保育施設も来園している。消防車見学の際も近隣施設に声かけをし、地域との交流・連携に努めている。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目		
サブカテゴリ-1			
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(0000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-1の講評			
<p>区のホームページや情報誌、園庭開放のチラシなどで情報提供している</p> <p>区のホームページや広報紙、情報誌「保育施設利用のご案内」や「杉並区保育施設MAP」などで情報提供している。区のホームページの「施設案内」から、当園の概要や保育目標、主な行事、園の特色、見取り図、園の外観や保育室内の写真などを見ることができるようになっている。また、園に設置した外部向け掲示板には、園庭開放のご案内などを掲示している。そのほか、園庭開放のチラシを作成して、保健センターや隣接の図書館、園医の医院に置かせてもらい、必要な人の目に留まるようにしている。</p> <p>行政や地域子育てネットワークのメンバーなどと連携している</p> <p>区立直営園であり、保育課とは月報などを含め、さまざまな情報のやり取りしている。児童館が事務局になっている地域子育てネットワークに参加して、青少年委員、小学校、中学校、自治会、主任児童委員などの地域連絡会メンバーで、年2回の会議を開催し情報交換している。地域行政連絡会にも参加して子どもの情報を交換している。また、園の夏祭りの練り歩きの際には、警察署と区の安全パトロール隊に見守りを願っている。消防署には避難訓練の計画を提出し、年1回避難訓練の指導を受け、職員向けの救急法の指導を願っている。</p> <p>見学希望者は日程調整して受け入れ、園内を案内して説明している</p> <p>見学希望者には、園の見学受け入れ日を伝え、日程調整して対応している。今年度は9月と10月は4日ずつ、11月は2日設定して、1回につき6~12名程度で実施した結果、11月末までに100組が参加している。見学には園長と主査で対応して、参加者には説明用の文書を配布して、子どもたちが遊んでいる様子を観てもらいながら施設を案内し、園の保育目標や特色などを説明している。参加者からおむつの持ち帰り、バギーの置き場、入園までに作る物などの質問が寄せられ、丁寧にわかりやすく伝えている。</p>			
サブカテゴリ-2			
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(000)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当

<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2の講評

**入園説明会を実施して、重要事項や園のルールなどを説明している**  
 入園内定者には、2月中旬に入園面接などを実施して、「家庭状況調査票」を基に、園長が就労状況や家庭の事情、保護者の要望などを聴き取り、保育時間を決めている。3月末の土曜日の午前中に入園説明会を実施して、「園のしおり」や「園ご利用にあたって(重要なお知らせ)」を基に、重要事項や園のルールなどを説明している。保育園生活の映像を見てもらいながら、園長・主査が園の概要や保育理念や方針、保育目標、お願い事項など、看護師が健康生活について説明をしている。各クラスからは、登園時の衣類などの置き場などを説明している。

**集団生活を初めて経験する子どもの場合、不安軽減のために慣れ保育を実施している**  
 入園初日は、0歳児の場合保護者も一緒に過ごし、離乳食を食べるなど、園の生活や食事等の様子を知ってもらう機会にしている。2日目からは子どもを預かり、午前中保育をしている。慣れ保育はおおよそ1週間程度を目安にしているが、保護者の就労状況や子どもの状況を考慮しながら、個別対応をして徐々に保育時間を延ばしている。1歳児の場合は初日から子どものみで預かるが、初めての食事は保護者に食べさせてもらっている。

**転園・退園、卒園には、不安を軽減して支援が継続できるようにしている**  
 公立保育園に転園する場合は、保護者の同意を得て、児童票の写しを転園先に渡して支援の継続ができるようにしている。退園の場合には、本人の作品を返却し、クラスの集合写真や言葉を添えたメッセージカードなどを手渡しして、今後も遊びに来てくれるように伝えている。年長児の保護者向けには、小学校の先生に話をしてもらう機会を設け、小学校へ保育所児童保育要録を提出する旨も伝えている。就学に不安を抱えている場合には、保護者の同意を得たうえで、就学支援シート「すばる」を保護者と共に作成して、小学校へ提出することもある。

サブカテゴリー3

3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	12/12
---	-----------------	-------------------	-------

<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	<input type="radio"/> 非該当



評価項目2 保育課程や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定めたうえで、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目4 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-3の講評

子どもの心身や生活の状況を把握して保育し、保育日誌や児童票などに記録している  
 入園時には健康診断と面接を実施して、子どもの心身や成育歴、健康状態、入園までの生活状況などを聴き取っている。毎日、乳児クラスでは複写式の連絡帳を使用して、睡眠や食事、排泄の状況などを記入し、家庭と子どもの状況をやり取りしている。幼児クラスでは、必要に応じて連絡メモを使用している。毎月の身体測定や年2回定期健康診断、週1回の0歳児健診などで子どもの発育状況を把握して、記録している。そして、日々の保育や子どもの様子を保育日誌や保健日誌に記入し、児童票には子どもの発達状況などを記載している。

指導計画(月案)は担任同士で子どもの様子やクラスの状況を話し合い、作成している  
 各クラスで毎月中旬頃、クラス打ち合わせをし、子どもの様子やクラスの活動状況について反省している。ねらいや活動内容が適切であったかどうかの検討を行い、保護者から寄せられた感想や意見なども参考にして、翌月の指導計画(月案)を作成し、24日までに提出している。月末に実施している指導計画検討会議に向けて、事前に配布して目を通して、意見交換をして職員間で共有している。月の始めには月案、週案をクラス前の廊下に掲示している。乳児・幼児クラス共に個別計画を作成している。

子どもの保育に必要な情報を共有するために各種の会議を開催している  
 月曜日から金曜日まで代表者参加による昼礼を実施して、園日誌に記載している。内容は子どもの健康状態・怪我・家庭の情報、明日の行事・散歩・職員体制、明日の給食献立・アレルギー食確認、今日の献立反省などを行っている。参加者は園日誌と同形式のクラスノートに記入して、他の職員にも周知している。そのほか、定例会議を週1回、可能な限りの職員が参加して、課題検討や園長会報告、行事、乳児・幼児会議の報告などを行っている。職員会議は月1回、夕方から実施して、事例討議や期の反省、新保育所保育指針の学習、研修報告等を実施している。

サブカテゴリ-5

5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和りとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	○非該当	
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	○非該当	
●あり ○なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	○非該当	
●あり ○なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	○非該当	
サブカテゴリ-5の講評			
子どものプライバシーの保護や羞恥心への配慮をしている 入園時に個人情報の取り扱いや、園でのビデオ撮影や写真撮影についてのお願いを説明して、同意書ももらっている。また、専門機関からの訪問支援や就学に向けての訪問などの際には、事前に保護者に同意を得てから来てもらっている。また、子どもの羞恥心への配慮として、おむつ交換やおもろしの着替えは外部からは見えにくい場所で行っている。プールやシャワーなどは、目隠しを設置して外部からは見えないようにしている。身体測定時もカーテンを引いて実施している。			
常に一人ひとりを大切に保育をしている 子どもへの声掛けは遠くからはしない、できるだけ1対1で対応するなど心掛けている。誕生日会はクラスで行い、原則としてその子どもの誕生日の当日または前後に、保護者の了解を得て実施している。当日の朝、皆に観てもらえるように、保育室入口付近に写真を飾っている。幼児クラスになると本人はお誕生日バッジを付けてもらい、作り物のケーキに年齢の数のろうそくを立て、お祝いしている。5歳児には、皆と同じ給食献立であるが特別の盛り付け方をしたお誕生日プレートを提供して、子どもたちに大変喜ばれている。			
保育の振り返りをする時に、子どもへの接し方についても討議し、確認し合っている 指導計画検討会議や職員会議などで保育の振り返りを行い、子どもへの接し方についてグループ討議をしている。子どもへの対応で気になることがある場合、例えば、子どもの背後から抱き上げる、黙って抱いたり、手をつないだりするなどには、正面から子どもの顔を見て声を掛けてから抱いたり手をつないだりする、子どもが自分でしようとしている時には待つことが大切であることを職員会議の中で伝え、確認し合っている。また、子どもや保護者の様子で気になる状況がある場合には、園長に報告し、「危機管理マニュアル」に沿って対応することになっている。			

サブカテゴリ6

6 事業所業務の標準化

サブカテゴリ毎の  
標準項目実施状況

11/11

評価項目1  
手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2  
サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3  
さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(00000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した保育ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ6の講評

区共通の「危機管理マニュアル」や園独自の「永福北保育園のしおり」を整備している

区の「保育実践方針」や区立園共通の「危機管理マニュアル」が整備されている。その他、園独自マニュアル「永福北保育園のしおり」を作成しており、園庭遊びの約束、年度始めの確認事項、係分担、当番の仕事内容、パートさんの仕事内容などを綴じて、職員一人ひとりに配布して、必要な時にいつでも確認できるようにしている。

子どもの安全な環境作りのために安全点検やヒヤリハット報告を実施している

子どもの安全性に配慮した環境をつくるための活動は、環境プロジェクトが中心になって行い、園庭のタイヤなどが古くなったものは廃棄するなどしている。安全点検は年4回程度、園庭と園舎のホールや廊下、階段などの共有部分について、チェックシートを用いて行っている。ヒヤリ、ハットした事例は、昼礼で報告し合って、気を付けることや対策も共有している。事故報告は本年度11月現在、転んで顔面や歯を負傷し、歯科受診のケースなど8件がある。歯を打撲した場合には、給食の刻みを細かくしたり、柔らかかめにする等の配慮をしている。

ヒアリングや助言などにより職員育成に取り組んでいる

園長は、目標申告の際に年2回、職員ヒアリングを実施している。毎月の指導計画検討会や幼児クラスの記録類などに目を通し、気づいたことは助言しているが、会議の場面だけでなく、気づいたことはその都度話をしている。また、新人職員育成には、同じクラスの先輩を育成担当者に決めて取り組んでいる。育成担当者は年2回育成担当者会議で情報交換し、学んでいる。そして、新人の課題と取り組み、担当者としての振り返り、次の課題など指導記録に付けている。新人職員も学んだことや次の課題などを記録している。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもが自分の遊びたい玩具を選んで落ち着いて遊べる環境作りをしている</p> <p>乳児組の保育室は食事や着替えなどの生活の場所と遊びの場所とを玩具棚やパーテーションなど区切っている。遊びの場所はままごとや絵本、パズルなどの机上遊び、飲料用紙パック製の積み木などのコーナーに分けて、子どもが自分の使いたい玩具類を出して使えるように子どもの背丈に合わせた玩具棚に置いている。0歳児室では子どもがなめたりした玩具類はお昼と夕方に消毒をしている。幼児組でも同様に、ままごと、手先の遊び、絵本、積み木などを分けて設定し、子どもが自分の遊びたい玩具などで落ち着いて遊べるようにしている。</p> <p>月1回、縦割りグループ活動「なかよし会」で散歩や会食をしている</p> <p>園庭遊びや朝夕保育などで、日常的に自然な異年齢交流の場はあるが、幼児組では、毎月日程を決めて、縦割り3グループの活動「なかよし会」をしている。メンバーは年度が替わっても継続して、そこに3歳児が入ってくる方法にしている。盆踊りや散歩、会食、運動会の異年齢競技、正月遊びなどに取り組み、一緒に遊ぶ仲間関係ができており、子ども同士自然に声かけをしたり、助け合ったりする姿が見られている。「なかよし会」の活動の様子は貼りだし日誌に写真を付けて、保護者にも伝えている。</p> <p>小学校との円滑な接続に向けて、小学校訪問などに取り組んでいる</p> <p>園児が就学する近隣の小学校2校と交流している。1校とは、地域の保育園と一緒に学校訪問をして、図書館体験や教室・ランドセル体験をさせてもらっている。もう1校は、学芸会の予行練習の見学や1年生体験をさせてもらっている。6年生との年3回の交流も予定して、1回目はドッチボールや鬼ごっこなどを一緒に遊んでもらっている。5歳児の保護者向けに校長先生から、「小学校入学まで身に付けておいてほしいこと」などの話をしてもらっている。その他、夏季休業中に、小学校教員の保育園訪問や保育士体験を受けている。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている			
		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当

**評価項目2の講評**

**受け入れ時には子どもの健康観察し、保護者に家庭での様子を聴いている**  
 朝の受け入れ時には、子どもの顔色や機嫌などの健康観察をして、保護者には家庭での子どもの様子や健康状態の聴き取りをしている。乳児組では連絡帳を手渡ししてもらい、その場で確認している。前日に発熱や怪我、体調を崩し気味などの場合には、詳細に様子を聴いている。聴き取った保護者からの情報などを、各クラス視診表に記入して、保育の参考にし、保護者との会話などに活用している。

**基本的な生活習慣の自立に向け、保護者と協力し合って援助している**  
 保護者会やクラスだより、保健だよりなどで、生活リズムの大切さを伝えている。保護者会では、発達の目安の姿などを書面で説明し、食事や排泄、着脱などの生活習慣が身につく過程は、個人差があるため個別にすすめることや園における援助の仕方などを伝えて、理解してもらっている。例えば、トイレトレーニングでは、子どもの排泄間隔が長くなり、トイレに興味をもつようになってきている子どもの具体的な姿を伝えて、保護者の意向を確認しながら、協力し合って進めることにしている。

**お迎えの際には、日中の子どもの様子を保護者に伝えている**  
 お迎えの時には、担任が対応できる場合には、乳児クラスでは連絡帳を手渡ししながら、幼児クラスでは、必要に応じて、連絡ノートや幼児連絡メモを利用し、子どもの日中の様子を直接伝えている。夕方当番体制になる際には、担任が連絡事項を各クラス視診表に記入し、口頭でも当番保育士に引き継ぎ、保護者へ漏れなく伝えるようにしている。幼児クラスでは子どもの活動の様子を「貼り出し日誌」で見てもらっている。日中の子どもの様子を担任が直接伝える必要がある場合には、お迎えの時間まで待つて伝えることもしている。

**3 評価項目3**  
 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している 評点 (○○○○○○)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

**評価項目3の講評**

**積み木やブロック遊びなどは継続して遊べるようにスペースを設けている**  
 乳児組は各クラスを2グループに分けて、少人数保育を実施して、出来るだけ子ども一人ひとりの気持ちを受けとめて保育ができるようにしている。幼児組の保育室では、広げて遊べる積み木遊びのスペースを確保して、子どもの遊びが途中の場合には、置いておき、継続して遊べるようにしている。小さいブロック類も同様に、製作中の物やできあがったものなど、置いたり飾って楽しんだりすることができるように、玩具棚に置き場を作っている。

**リズム、製作活動、絵画など、さまざまな表現活動に取り組んでいる**  
 さまざまな表現遊びに取り組んでいる。0歳児～5歳児が週1回程度リズム遊びを取り入れて、運動会でも幼児組の異年齢活動競技として観てもらっている。夏には園庭で水や砂、泥などでサラサラ、べたべたなどの感触遊びをしている。草花や木の実などの自然物を利用した製作活動も盛んに行われている。お店やごっこに向けて、お店の品物作りの製作活動もしている。5歳児は2回目の保護者会には劇ごっこ「宇宙の大冒険」をしようと、大道具や小道具作りに取り組み、子どもの粘土遊びの作品展示もしている。

**園庭や散歩先などで自然に触れて遊び、季節の変化にも気づいている**  
 自然に恵まれた環境であり、園庭の夏みかんや杏の実でジュース作りやジャム作りをして、豊作の時には家庭に持ち帰ったりしている。隣接の図書館の桜で花見をしたり、園庭の百日紅の花びらで遊んだりもしている。夏みかんの葉に付いた幼虫を飼育して、蝶の羽化を観察している。散歩には、乳児組では天気が良ければ週に3～4回、3歳児組も週2～3回、4・5歳児組は週1～2回程度出かけている。都立公園の堀で鴨や亀などを見たりもしている。ドングリや松ぼっくりなどの自然に触れて遊び、季節の変化なども感じられるようにしている。

4 評価項目4  
 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

季節の行事は、子どもの年齢に応じた取り組みをしている  
 季節の行事は、行事の意味を伝えたり雰囲気を楽しんだりして、子どもの年齢に応じた取り組みをしている。子どもの日には、4・5歳児が共同制作した鯉のぼりを揚げている。七夕には、七夕飾り製作をして飾り、雰囲気を楽しんだり、異年齢活動で会食をしている。新年子ども会では全園児が参加して新年のあいさつをしたり、職員の出し物を観たりし、幼児組では正月遊びをしている。節分には園内に現れた鬼に幼児が豆をまき、乳児組には5歳児が鬼になり、新聞紙玉まきをしている。ひな祭りには雛飾りを飾って、幼児組ではお茶会や会食をしている。

子どもたちの意見を取り入れて子どもが意欲的に参加できる運動会にしている  
 保護者参加行事の運動会は10月の土曜日に園庭で、幼児組中心で実施している。乳児組は自由参加にして、土曜保育も実施している。全園児に旗を手作りしてもらい、乳児組の手形の旗や幼児組の絵の旗などで園庭を飾っている。運動会の種目は子どもたちと相談して決めているが、その結果、春から日常の遊びの中で取り組んできた縄跳びやリズム、リレーなどを見てもらうことになった。縄跳びでは、友達とお互いに刺激し合いながら取り組み、一人跳びから二人跳びができ、大縄跳びでは皆で協力して跳ぶ楽しさや達成感などを味わうことができている。

保護者に楽しみにしてもらえようように、取り組んでいる子どもの姿などを伝えている  
 年度初めに年間行事予定表を配布し、保護者会でも伝えて予定に入れてもらっている。運動会の内容などが決まり、取り組んでいる子どもの様子を「貼り出し日誌」や、「クラスだより」などで伝えて、保護者に楽しみにしてもらえようようにしている。行事のお知らせやプログラム(ご案内)、運動会の見どころなども発行している。実施後には保護者から感想や意見などをもらい、それらを次年度の取り組みに活用している。

5 評価項目5  
 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

当番体制であるが、18時30分頃までは可能な限り担当クラスの保育を行っている  
 夕保育は、17時から当番体制をとっているが、0・1・3歳児は18時30分まで各クラスの保育室で保育をしている。2歳児は18時まで2歳児室を使用し、その後1歳児と合同保育にしている。4・5歳児は一緒にホールで過ごしている。当番体制ではあるが、なるべく担当クラスを保育するようにして、お迎えの保護者に子どもの様子を伝えられるようにしている。パート職員は毎日クラスを担当している。18時30分から延長保育になり、補食を摂った後はホールで異年齢合同保育をしている。

子どもが落ち着いて遊べるように、いつも同じコーナー設定をしている  
 ホールでは、子どもたちが落ち着いて遊べるように、折り紙や絵などの机上遊び、絵本、小型ブロック、積み木、パズルやカードゲームなどのコーナーを設定している。次第に人数が少なくなってくると、仕切りなどで狭い空間にするなど、子どもたちの様子により、安心して遊べる環境にするように配慮している。延長保育利用児は11月現在10名程度である。保育時間が遅れるとの連絡をもらった時には、延長スポットに入るかどうかの確認をしている。

自然な異年齢の交流の機会になり、ゆったりと過ごしている  
 延長保育では、異年齢合同保育をしているので、年上の子どもが年下の子どもに玩具を持って来てくれたり、遊びに誘ってくれたり、自分の絵をプレゼントしてくれる姿が見られている。年下の子どもも憧れの年上の子がいて、そばにいてじっと遊びを見ている姿もある。保育者が仲立ちをしながら一緒に折り紙を折ったり、汽車とレールなどで遊んだりしており、保育者と一緒に居たいような時には抱いたり、絵本を読んだりして過ごしている。

## 6 評価項目6

子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している

評点(0000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	<input type="radio"/> 非該当

## 評価項目6の講評

子どもが安定して楽しく、美味しく食事ができるようにしている

乳児組の保育室では食事のスペースをとり、いつも同じ場所で決まった友だちや担当者と一緒に食べている。0歳児クラスでは、安定して座って食事ができるように、テーブル・椅子の高さを子どもの背丈に合わせ、足台を使用したり、股止めのある椅子を使用したり、テーブル付の椅子にしたりしている。幼児組でも同じ場所で落ち着いて食べられるようにしている。また、給食の献立は、区立園統一の2週間サイクル献立であり、安全な食材を使って園で手作りし、昆布や鰹節、煮干しで出汁をとり、薄味で季節感があるメニューの給食を提供している。

食物アレルギー児には除去食や代替え食を提供している

食物アレルギー児については、食物除去申込書を提出してもらい、保護者の意向を確認して対応している。毎月、献立の一つひとつの材料について、保護者と一緒に打ち合わせを行い、食材の除去食や代替え食など提供の仕方を確認している。日々の昼礼で、明日のアレルギー食の確認をしている。当日は調理職員間で確認して調理し、給食を受け取りに来た担任と調理室間で確認し、アレルギー児にはトレ配膳をしている。乳児の場合はテーブルを別にしたり大人がそばに付くようにして、誤食防止をしている。

野菜栽培や食材の下処理、調理保育などの食育活動に取り組んでいる

食育年間計画を作成して取り組んでいる。プランターや園庭の畑を利用して、おくらやカブ、小松菜、かぼちゃ、稲、とうもろこしなどを栽培して、子どもたちは水やりをして生育を楽しみに観察している。収穫した野菜は、調理室で調理してもらい、時には、保育室の子どもの目の前で炒めてもらい、採れたての野菜のできたてを食べている。幼児組ではとうもろこしの皮むきや豆類のさやむきなど、食材の下処理体験もしている。調理保育として、芋餅作りやラップおにぎり作りなどもしている。玄関に保護者向けの給食レシピを用意して持ち帰り自由になっている。

## 7 評価項目7

子どもが心身の健康を維持できるよう援助している

評点(000)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	<input type="radio"/> 非該当



評価項目7の講評

手洗いやうがいなどの健康教育や安全な遊び方などを知らせている

子どもが自分の健康に関心をもてるように、手洗いうがいの指導などを行っている。5歳児を対象にプール前に、プライベートゾーンを大切にすることを話している。2～4歳児への手洗い指導では一緒に洗いながら、洗いを指導している。歯科健診の前には、歯科衛生士からペーストや紙芝居などを使って、子どもにもわかりやすく歯磨き指導をしてもらっている。保育士は日々の遊びの中で、園庭や室内の危険な遊び方や場所などを子どもに知らせ、散歩の時には道路の歩き方、横断歩道の渡り方などの交通ルールを伝え、公園の遊具の使い方も知らせている。

医療機関などと連携して子どもの健康に関する相談などを行っている

園では原則薬の預かりはしていないが、健康な日常生活を送るために与薬が必要である場合に限り、与薬申込書を提出してもらい、医師の処方薬を預かっている。小児科医の園医は週1回の0歳児健診、年2回の定期健康診断で来園している。そのほか、歯科医による歯科健診や幼児対象の耳鼻科健診と眼科健診をそれぞれ年1回実施している。園医には、子どもの健康に関する相談をしたり感染症などの情報をもらったりしている。

保護者へ子どもの健康管理の情報を提供している

毎月の身体計測や定期健康診断の結果は健康カードで保護者に伝えている。感染症の流行状況をサーベイランスで把握して、保護者に情報を提供し、予防策をとっている。園で感染症が発生した場合には、病名や主な症状、潜伏期間などを、玄関やクラス入口などに掲示して注意を喚起している。毎月保健だよりを発行して、生活リズムや風邪の予防、爪の取り扱い、梅雨時の注意点などの子どもの健康管理に関する情報や保健行事について掲載している。乳幼児突然死症候群(SIDS)のポスターを掲示し、園における睡眠時には睡眠時チェックを実施している。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

保護者のさまざまな事情には、可能なかぎり受け入れている

保護者のさまざまな事情をよく聴き、可能な限り受け入れている。仕事が忙しく、お迎えが遅れる場合には、延長スポットを利用してもらうことになっている。仕事だけでなく、保護者や家族が体調を崩して受診する場合などの個々の事情にも、保育時間を配慮して受け入れている。土曜日が仕事になった場合には連絡してもらい、受け入れている。当日になってお迎えの人が変更になる場合も、保護者から連絡を受けて、代理人であることを確認し、受け渡しをしている。

保護者会では、保護者同士が交流できるように話し合いの場を設けている

年2回の保護者会では、現在の子どもの姿を写真などの映像で伝えているが、保護者同士の自己紹介やグループ討議も取り入れて、子育ての悩みなどを出し合う機会にしている。夜の寝かし付け方、食事の好き嫌いの対応、家での遊び、休日の過ごし方など、保護者から寄せられたテーマを基に話し合ってもらっている。保護者会終了後には、子どもがおやつを食べている間に、待ってもらう時間も父母の交流の場になっている。また、父母会活動が行われて、年数回のクラス交流会が開かれているので、園も協力している。

個人面談を実施し、保育参観・参加をしてもらい、園の保育を知ってもらっている

保育を伝える取り組みとして、日々、貼り出し日誌を見てもらっているが、保護者に読んでもらいやすいように、玄関からのお迎えに合わせて夕方はクラス前の廊下に貼り、朝は、幼児組の受け入れをするベランダ側の窓に掲示し直している。また、年1回個人面談を実施し、できるだけ保育参観・参加をしてもらっている。乳児組では午前中参観した後、個人面談にしているが、子どもの通常の様子を親でもらえるように、隠れて親でもらった後で参加してもらおう方法も採っている。幼児組では、午前中の保育参加や午後の個人面談の後の保育参加も受け入れている。

9 評価項目9

地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている

評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもが地域の資源を利用し、多様な体験や交流ができるような機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 園の行事に地域の人々の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目9の講評

図書館を利用したり近隣の保育園と交流したりしている

5歳児が、隣接の図書館を利用して絵本を読んだり、借りたりしている。「館内では大声を出さない」などの図書館利用のルールを学ぶ機会になっている。父母会が招いた「昔遊びのボランティア会」に来てもらい、園内で南京玉簾やコマ作りの体験をしている。近隣の保育園の人形劇に招待してもらい参加している。近隣の住民から、七夕の笹竹を頂いて毎年、笹飾りを作っている。園の夏祭り際には、手作りのお神輿を担いで近隣の道路を練り歩き、保護者だけでなく地域の方々にも見てもらい、声援や拍手をもらっている。

運動会や夏祭りに参加を呼び掛け、卒園児や地域住民に参加してもらっている

園の運動会には、ポスターを貼るなどして地域の人にも参加を呼びかけ、地域競技の種目も用意している。夏祭りには、卒園児が遊びに来てくれたり、近隣の方々にも声掛けして数名の方に参加してもらっている。学校の夏休み期間中などに、高校生の職場体験や中学生のボランティアも受け入れて、一緒に遊んでもらっている。

園庭開放や子育て相談などの地域子育て支援を進めていきたいと考えている

地域への子育て支援として、園庭開放、子育て相談を実施しているが利用者は多くはない状況である。地域の保健センターや図書館、園医の医院などにも、毎週水曜日と木曜日10時から実施している園庭開放のチラシを置かせてもらっている。その日には、看護師が地域向けの身体計測を実施して、子育て相談をうけている。近隣の保育施設にも園庭利用を呼びかけて、参加してもらおうようになってきているので、今後も進めていきたいと考えている。

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-1	子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている
タイトル①	乳児と幼児が園庭遊びやリズム遊びなどで自然な異年齢交流をしている	
内容①	園庭では、乳児・幼児と一緒に遊んでいることが多く、異年齢の自然な関わりが見られている。幼児のお家ごっこに乳児が入れてもらったり、ダメよと言われたり、乳児が泣いていると、幼児がティッシュで涙を拭いてくれたり、なぐさめの歌を歌ってくれたりしている。また、0～5歳児がリズムに取り組んでいるので、保育室やホールで保育士同士が声をかけあい、一緒にリズムで身体を動かしている。年上の子の動きを見て、年下の子が真似て動こうと頑張ったり、年下の子に見られているから、張り切って動いたりといった、相乗効果が見られている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル②	豊かな自然を取り入れた、のびのびとした保育に取り組んでいる	
内容②	朝保育後には、幼児組は園庭で遊び、朝の受け入れを園庭で行っている。乳児組が園庭に出てくるまでの時間、たっぷり外遊びをしている。百日紅などの季節の花が咲き、花びらでままごとをしたり、さまざまな可動遊具でお家ごっこをしたり、園庭の砂場に水を運び込んでダイナミックに遊んだり、園庭で泥団子を作ったりして遊んでいる。近隣の公園に散歩に出かけては、草花を摘んできたり、虫を捕まえてきたりしている。利用者アンケートの「園の活動は心身の発達に役立っているか」の問いに対し、99%の肯定回答が寄せられ、高い評価を得ている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる
タイトル③	具体的な事例を通して、「杉並区立保育園保育実践方針」の理解を深めている	
内容③	「杉並区立保育園保育実践方針」(以下「保育実践方針」)に基づいた保育の実践に努めている。保育実践方針は、杉並区立園で大切にしている保育を明文化したものである。保育実践方針を読み合い、また、具体的な事例を通して討議して内容の理解を深めている。また、職員個々が自分の保育を見直すことができ、保育実践方針を意識して保育の実践につなげている。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもたちがじっくり遊べる環境作りに取り組んでいる
	内容	子どもが自分で使いたい玩具や遊具を選んで遊べるような環境作りに取り組んでいる。各保育室は担任を中心に、園庭は環境プロジェクトを中心に見直しをしている。一昨年、他の区立保育園を見学に行き、園としてどうするかを話し合い、園庭には滑り台や鉄棒、砂場、ログハウス、ブランコなどの固定遊具があるが、もっと子どもたちが自分で使いたいものを自由に選んで遊べるようにしようと、コンテナ、タイヤ、お風呂マットなどの可動遊具類を揃え、子どもがすぐに出せるような場所に設置したところ、子どもたちの好きな遊びが広がってきている。
2	タイトル	保育者が積み木の勉強会を実施して、子どもの積み木遊びが豊かに展開されるようになっている
	内容	職員7～8名程で自主勉強会を2か月に1回、夕方から行っている。子どもたちの積み木遊びを広げたいという思いから、参考図書を基にして学び始め、積み木で遊び、作り上げた作品を保育室で子どもたちに提示し、遊べるようにしたところ、子どもたちが刺激されて、壊れたら同じように作るようになってきた。乗り物シリーズや鬼が島など、ダイナミックな積み木遊びを提示したことで、子どもの積み木遊びの広がりが見られるようになっている。
3	タイトル	園だよりに、保護者に原稿を依頼して書いてもらっている
	内容	保護者同士の交流や園の保育に参加してもらう取り組みの一つとして、園だよりコラムの寄稿をお願いしている。今年度のテーマ「お父さんお母さんが子どもの頃好きだった遊び」「雨の日の過ごし方」「おすすめの本、絵本」の中から自由に選んでもらうことにより、月に5～7人の方が登場している。コラムを通して、保護者同士や保護者と保育士の会話が弾んだり、広がったりしている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	これまで以上に園の子育て支援の取り組みを地域の人たちに知ってもらう工夫が望まれる
	内容	隣接の図書館を利用しており、夏祭りには子どもたちが手作りお神輿を担いで近隣を練り歩き、地域の方々に声援をもらっている。地域子育て支援として、週2回の園庭開放と子育て相談、地域向け身体計測を実施しているが、園の場所が奥まってわかりにくい場所にあるためか、図書館などにチラシを置かせてもらっているものの、参加者は多くない状況である。これまで以上に、地域の子育て中の人に、園庭開放などの取り組みを知ってもらう工夫が望まれる。
2	タイトル	近隣の保育施設などとの子ども同士の交流を進める取り組みを期待する
	内容	現在近隣の認可保育園1園と交流し、人形劇に招待してもらったりしている。地域には小規模保育施設が数か所あり、園庭のない保育施設もあることから、毎週水曜日と木曜日10時から実施している園庭開放に来てもらうように声かけしている。1～2回来てもらえたが、先方の都合などで、常時の利用はない状況である。今後は、園庭開放や園の保育行事への招待など、連携の方策を探り、交流を進めることを期待する。
3	タイトル	ヒヤリ・ハット事例を記録に残し、事故防止対策に活かしていくことが望まれる
	内容	園舎内の軽微な危険を発見したときは、口頭ですぐに主査・園長に報告し、昼のミーティングなどで報告し、改善策について検討し、全職員で情報共有している。しかし、専用の書式による記録はできていない。ヒヤリハット情報を漏れなく集めて記録に残し、ヒヤリハット報告書を作成して、今後の対策に生かすことを望む。

## 8. 高円寺東保育園

[ver.2]

調査対象

平成29年10月の配布時点で利用している在園児112名の保護者98世帯を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答の回答をいただいた。

調査方法

クラスごとに担任などから保護者に調査票を渡していただき、園内の設置した回収ボックスに投函していただくか、返信用封筒にて直接弊評価機関へ投函していただいた。

利用者総数  
利用者家族総数(世帯)  
共通評価項目による調査対象者数  
共通評価項目による調査の有効回答者数  
利用者家族総数に対する回答者割合(%)

利用者総数	112
利用者家族総数(世帯)	98
共通評価項目による調査対象者数	98
共通評価項目による調査の有効回答者数	75
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	76.5

利用者調査全体のコメント

・回答者の属性は次の通りである。調査票記入者:「父」4名(5%)、「母」61名(81%)、「父母一緒に」4名(5%)、「その他」1名(1%)、無記入5名(8%)。  
 ・総合的な感想は「大変満足」44名(59%)、「満足」27名(36%)、「どちらともいえない」4名(5%)で、「大変満足」「満足」と回答した方々は回答者の95%で、当園の保育に関して非常に高い満足を得ている。  
 ・回答者の90%以上が「満足」と回答し、非常に高い満足を得ていた設問は、問1「心身の発達に役立つ活動」、問2「興味や関心の持てる活動」、問3「食事」、問4「戸外遊び」、問10「職員の接遇・態度」、問13「利用者の気持ちの尊重」であった。  
 ・総合的な感想では、「ルールやマナーの習得、トイレトレーニングなどの躰もしてくれている」「挨拶や声かけをよくしてくれて、園の雰囲気がよい」「子どもも生き生きと楽しく過ごしている」「子どもに変化があれば、迎え時や連絡帳で丁寧に教えてくれる」などのコメントが記入されていた。

利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	74	1	0	0
「はい」と回答した方々は回答者の99%で、心身の発達に役立つ活動に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と回答した方からは「園庭や室内での遊びでは、各年齢に応じてバリエーションが多く、子どもの運動能力、知育向上に役立っている」などのコメントが記入されていた。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	71	4	0	0
「はい」と回答した方々は回答者の95%で、興味や関心を持てる活動に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と回答された方からは「クラスごとに野菜を作って食べるのは、食への興味を持つ取り組みで、とても良い」などのコメントが記入されていた。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	70	4	1	0
「はい」と回答した方々は回答者の94%で、食事に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と回答された方からは「アレルギー食品などを食べられるようになったのを確認して、その子のペースでステップアップしてもらった」「体調不良で食欲が優れないときは、量の加減をしてきている」「無理強いほしないようで、バランス良い食事だと思う」などのコメントが寄せられた。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	70	5	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の93%で、戸外遊びに関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答した方からは、「虫探しや草花に触れる機会が多い」「どんぐり拾いをしたり、カブトムシを見たり、十五夜の話の聞いたりなど、季節感ある活動をしてもらっている」などのコメントが寄せられた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	58	8	0	9
「はい」と返答した方々は回答者の77%で、保育時間の変更への対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは「電車遅延時の対応もしてくれるので助かる」、「わからない」(非該当)と返答された方からは「時間外はまだ利用したことがない」などのコメントが寄せられた。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	58	14	1	2
「はい」と返答した方々は回答者の77%で、安全対策に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答された方からは、「先生方も、さまざまな点に気を配っていると思う」などのコメントが寄せられた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	48	20	5	2
「はい」と返答した方々は回答者の64%、「どちらともいえない」27%、「いいえ」7%、非該当・無記入2%であった。「はい」と返答された方からは「事前に日程を知らせてくれるので、助かっている」などのコメントが寄せられた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	66	8	1	0
「はい」と返答した方々は回答者の88%で、家庭と保育所との信頼関係に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「困ったことは、連絡帳を通じてすぐに確認し、相談できる」「いつも迎えのときに、日頃疑問に思っていることを話し、相談にものってくれる」「先生には安心して話ができるので、育児のストレスからも解放される」などのコメントが寄せられた。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	64	11	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の85%で、施設内の清掃、整理整頓に関して高い満足を得ている。「どちらともいえない」と返答された方からは「古い建物の中で、工夫していると思う」などのコメントが寄せられた。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	69	6	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の92%で、職員の接遇・態度に関して非常に高い満足を得ている。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	66	6	1	2
「はい」と返答した方々は回答者の88%で、緊急時の対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「看護師がいてくれる」「病気になった後も、気にかけてくれて嬉しかった」などのコメントが寄せられた。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	53	12	1	9
「はい」と返答した方々は回答者の71%で、子ども同士のトラブル対応に関して概ね満足を得ている。「はい」と返答した方からは「信頼しているが、言えない子もいるので、その子への配慮もお願いしたい」などのコメントが寄せられた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	68	7	0	0
「はい」と返答した方々は回答者の95%で、子どもの気持ちの尊重に関して非常に高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「子どもの気持(反応)を第一に物事を進めてくれた」「子どもが毎日保育園に行くのを楽しみにしているので、そうしてもらっていると思う」などのコメントが寄せられた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	60	12	0	3
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、プライバシー保護に関して高い満足を得ている。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	62	11	2	0
「はい」と返答した方々は回答者の82%で、保育内容の説明に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは「毎日の活動、園での遊び、今のブームなど、日誌で知ることができ、子どもとの会話のきっかけになっている」などのコメントが寄せられた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	60	10	1	4
「はい」と返答した方々は回答者の80%で、不満や要望への対応に関して高い満足を得ている。「はい」と返答された方からは、「日誌に書いたら、その内容にすぐに応えてくれた」などのコメントが寄せられた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	19	25	7	24
「はい」と返答した方々は回答者の26%、「どちらともいえない」33%、「いいえ」9%、非該当24%であった。				



I 組織マネジメント項目(カテゴリー1～5、7、8)

No.	共通評価項目	
	カテゴリー1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリー1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 9/9
	評価項目1 事業所が目指していること(理念、基本方針)を明確化・周知している 評点(〇〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を明示している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 重要な意思決定や判断に迷ったときに、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を思い起こすことができる取り組みを行っている(会議中に確認できるなど) <input type="radio"/> 非該当
	評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている 評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 経営層は、自らの役割と責任を職員に伝えている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 経営層は、自らの役割と責任に基づいて行動している <input type="radio"/> 非該当
	評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している 評点(〇〇〇)	
	評価	標準項目
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 重要な案件を検討し、決定する手順があらかじめ決まっている <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している <input type="radio"/> 非該当
	<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている <input type="radio"/> 非該当

カテゴリー1の講評

**入園説明会などを通して、保護者に対して、園目標などの理解の浸透を図っている**

「理念」「園目標」「保育目標」を事務室内に掲示し、職員への意識づけを図っている。玄関及び2階に「園目標」「保育目標」「園の概要」を掲示し、保護者に周知している。年度初めの保護者会で、園長が、園で大切にしていることについて説明している。入園説明会で、重要事項の説明や「杉並区立保育園保育実践方針」のうち、園で大切にしている子どもの姿について伝えたり、保育計画を立て保育していることを伝えている。また、クラスの担任から、クラス目標や1年間取り組んでいきたいことを伝え、保護者への理解の浸透を図っている。

**園長・主査それぞれの年間の取り組み課題を職員へ伝えている**

園長・主査それぞれの年間計画を立て、目標や取り組み課題を職員へ伝え、園運営への参画意識を高めている。杉並区立保育園では、「保育の向上を考えるリーダー会議」を組織化しており、各園2名のリーダーを選出しており、2名の向上リーダーと園長・主査が保育の向上促進の4本柱と位置づけ、各園のリーダーが参集し、区直営園横断的に情報交換し、互いに刺激をし合い、自園での実践の参考にしている。また、園長会(月2回)や、主査・看護師などの区立保育園の職位職種別の横の連絡会も設け、共通課題について検討している。

**職員会議で園の重要案件を検討、決定している**

勤務シフトが11パターンあるため、情報共有が園運営にとって重要課題となっている。そのため、毎日の昼のミーティング(13時50分～)を実施し、情報共有している。その後、クラスに戻り、他職員へ周知している。園の重要案件は、常勤職員全員が参加対象である職員会議で検討、決定している。不参加の職員には、議事録を回覧している。また、園独自で、年1回、2～3名の小グループに分かれて、パート・アルバイト職員の研修を実施しており、その際に非常勤職員同士の情報交換を行っている。

2 カテゴリー2		
2 経営における社会的責任		
サブカテゴリー1(2-1)		
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知している		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 福祉サービスに従事する者として、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などを明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳)などの理解が深まるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 第三者による評価の結果公表、情報開示などにより、地域社会に対し、透明性の高い組織となっている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 第三者による評価の結果公表、情報開示など外部の導入を図り、開かれた組織となるように取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 透明性を高めるために、地域の人々の目にふれやすい方法(事業者便り・会報など)で地域社会に事業所に関する情報を開示している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 7/7
評価項目1 事業所の機能や福祉の専門性をいかした取り組みがある		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の機能や専門性は、利用者に支障のない範囲で地域の人に還元している(施設・備品等の開放、個別相談など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域の人や関係機関を対象に、事業所の機能や専門性をいかした企画・啓発活動(研修会の開催、講師派遣など)を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明確にし、体制を確立している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティアの受け入れ体制を整備している(担当者の配置、手引き書の作成など)	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. ボランティアに利用者のプライバシーの尊重やその他の留意事項などを伝えている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 地域の関係機関との連携を図っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の関係機関のネットワーク(事業者連絡会など)に参画している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働して取り組めるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー2の講評

園内研修が、自分の保育を振り返る良い機会になっている

正規職員の入職時の研修では「公務員倫理」「人権」などについて指導教育している。「杉並区立保育園保育実践方針」はパート・アルバイトも含めた全職員に配布し、いつでも確認できるようにしている。また、「園内研修」を実施し、事例討議を行い、職員皆で意見交換を行うことで、事例を提出した本人だけでなく、他職員も、より良い保育への気づきを得ている。園内研修が、自分の保育を振り返る良い機会となっている。

地域の子育ての拠点としての役割を果たそうとしている

地域の子育て支援として、「園庭開放」「緊急一時保育」「ふれあい保育」などを実施している。「園庭開放」は、火曜日と木曜日の午前中であるが、園の立地条件により、利用者は少ない。「ふれあい保育」は、延べ3名が利用しており、給食を提供している。近くの認証保育所の園児が来園し、水遊びをしている。園内研修に小規模園の職員が参加しており、区立園として地域全体の保育の質向上に貢献している。

ボランティア担当者を置き、その受け入れ体制を整えている

「中学生職場体験・ボランティア活動に参加される方へ」を用意し、受け入れ体制を整えている。ボランティア受け入れにあたっては、主査を担当者とし、活動初日にオリエンテーションを行い、口頭で守秘義務について説明している。ボランティアセンターからボランティアを受け入れているが、今年度、ボランティアセンターからの依頼はなかった。その他、中学生・高校生の職場体験を受け入れており、青少年の育成に貢献している。

カテゴリ3		
3 利用者意向や地域・事業環境の把握と活用		
サブカテゴリ1(3-1)		
利用者意向や地域・事業環境に関する情報を収集・活用している		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 8/8
<b>評価項目1</b> 利用者一人ひとりの意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応している(苦情解決制度を含む) <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者一人ひとりの意見・要望・苦情に対する解決に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> 利用者意向の集約・分析とサービス向上への活用に取り組んでいる <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向を把握することに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業者が把握している利用者の意向を取りまとめ、利用者から見たサービスの現状・問題を把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 利用者の意向をサービス向上につなげることに取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目3</b> 地域・事業環境に関する情報を収集し、状況を把握・分析している <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>		
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズの収集(地域での聞き取り、地域懇談会など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)の収集に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所としての今後のあり方の参考になるように、地域の福祉ニーズや福祉事業全体の動向を整理・分析している	<input type="radio"/> 非該当
<b>カテゴリ3の講評</b>		
<p>「園のしおり」に苦情調整委員制度について記載し、保護者に周知している</p> <p>「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを園内に掲示し、保護者に周知している。「園のしおり」にも、苦情調整委員制度について記載し、保護者に周知している。要望BOXを設置し、いつでも苦情・意見を表明できるよう、各クラスにメモを置いている。保護者からの要望や意見に対して、クラス担任が対応し、園全体での対策が必要なケースは、職員会議で話し合い、共有している。</p> <p>保護者からの要望は、その都度、職員会議などを通して、全職員で共有している</p> <p>行事实施後、口頭で保護者の感想を聴き取り、改善につなげている。保護者からの要望は、その都度、職員会議などを通して、全職員で共有している。また、期日を決めて、保護者に返答している。保護者の要望に対して、なぜそのような要望が出たのかの考察を行い、保護者に寄り添った見方をするよう努めている。また、クラスに寄せられた保護者からの相談は、クラス担任だけでなく、全職員にも伝え、さまざまな視点から解決へとつながるよう取り組んでいる。</p> <p>地域懇談会などに参加し、保育に関する情報を収集している</p> <p>児童館、小学校などが参加する地域子育てネットワーク連絡会や、区内の認可保育園・認証保育所・杉並区立子供園などの保育関係施設の長が集まる杉並区内保育施設地域懇談会に参加し、保育に関する情報を収集している。見学者や地域の小規模保育所などから、地域の子育てニーズを収集している。また、園長会・各種研修への参加などからも保育園をめぐる情報を収集し、職員へ伝え、日々の保育に役立てている。</p>		

4 カテゴリー4		
4 計画の策定と着実な実行		
サブカテゴリー1(4-1)		
実践的な課題・計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の 標準項目実施状況 11/11
評価項目1 取り組み期間に応じた課題・計画を策定している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 理念・ビジョンの実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 年度単位の計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 短期の活動についても、計画的(担当者・スケジュールの設定など)に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 多角的な視点から課題を把握し、計画を策定している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 課題の明確化、計画策定の時期や手順があらかじめ決まっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 課題の明確化、計画の策定にあたり、現場の意向を反映できるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画は、サービスの現状(利用者意向、地域の福祉ニーズや事業環境など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画は、想定されるリスク(利用者への影響、職員への業務負担、必要経費の増大など)を踏まえて策定している	<input type="radio"/> 非該当
評価項目3 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 計画推進の方法(体制、職員の役割や活動内容など)を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、より高い成果が得られるように事業所内外の先進事例・失敗事例を参考にするなど の取り組みを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 計画推進にあたり、目指す目標と達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリー2(4-2)

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

サブカテゴリー毎の  
標準項目実施状況

4/4

評価項目1

利用者の安全の確保・向上に計画的に取り組んでいる

評点(〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の安全の確保・向上を図るため、関係機関との連携や事業所内の役割分担を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事故、感染症、侵入、災害などの事例や情報を組織として収集し、予防対策を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事故、感染症、侵入、災害などの発生時でもサービス提供が継続できるよう、職員、利用者、関係機関などに具体的な活動内容が伝わっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 事故、感染症、侵入などの被害が発生したときは、要因を分析し、再発防止に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

カテゴリー4の講評

園の組織目標を策定し、その目標達成に向けて取り組んでいる

区保健福祉部・保育課の組織目標を踏まえ、当園では現状の課題を分析し、「目標シート」に園の組織目標を策定している。「目標シート」には、目標や具体的な取り組みを定め、その目標達成に向けた実行体制を整え、その実践に向けて取り組んでいる。半期ごとに振り返り、反省・評価を行い、進捗管理を行い、年度末に実行状況をまとめ、次年度の計画に活かしている。また、保育計画に関しては、週ごと・月ごと・半期ごと・年度末に計画の反省を行い、次年度の計画に活かしている。

危機管理マニュアルを用意し、事故発生時に的確かつ迅速に対応できるようにしている

感染症等に関するマニュアルを用意し、いつでも確認して対応できるようにしている。パート職員も含め、看護師が講師となり緊急対応の訓練や嘔吐物処理の仕方についての研修を実施している。ヒヤリハット・事故報告書を活用し、事故の再発防止に取り組んでいる。危機管理マニュアルも用意し、事故発生時に的確かつ迅速に対応できるようにしている。また、0歳～5歳まで午睡チェック表を使用し、幼児クラスの午睡は職員2人体制で対応している。

避難訓練計画を作成し、月1回、火災・地震想定訓練を行っている

避難訓練計画を作成し、月1回、火災・地震想定訓練を行っている。プール遊び中・土曜日の職員体制の少ない中などの場面を想定し、実施後は反省会を設け、改善を図っている。パート職員や新人職員には、さらしを利用したおんぶの仕方や防災グッズの置き場所をクラスごとに伝えている。消防署員の指導のもとで、心肺蘇生法についても学ぶほか、年2回の防犯訓練を実施、「園庭内に不審者が侵入した」ことを想定して、不審者対応、子どもの安全確保及び職員への周知に取り組んでいる。さすまた2本を置き、その使い方についての練習も行っている。

5 職員と組織の能力向上			8/8
サブカテゴリ1(5-1)			
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	8/8
評価項目1 事業所にとって必要な人材構成にしている			評点(000)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の人事制度に関する方針(人材像、職員育成・評価の考え方)を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が必要とする人材を踏まえた採用を行っている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 適材適所の人員配置に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 職員の質の向上に取り組んでいる			評点(00000)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員一人ひとりの能力向上に関する希望を把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所の人材育成計画と職員一人ひとりの意向に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個人別の育成(研修)計画は、職員の技術水準、知識、専門資格の習得(取得)などの視点を入れて策定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりの個人別の育成(研修)計画に基づいて、必要な支援をしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員の研修成果を確認し(研修時・研修直後・研修数ヶ月後など)、研修が本人の育成に役立ったかを確認している		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(5-2)			
職員一人ひとりと組織力の発揮に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	7/7
評価項目1 職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる			評点(000)
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 職員の判断で実施可能な範囲と、それを超えた場合の対応方法を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに学ぶことに取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりの研修成果を、レポートや発表等で共有化に取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当



評価項目2 職員のやる気向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価・報酬(賃金、昇進・昇格、賞賛など)が運動した人材マネジメントを行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、疲労・ストレスなど)を把握し、改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員の意識を把握し、やる気と働きがいの向上に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福利厚生制度の充実に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリ-5の講評		
<p>区の「目標申告制度」に基づいて、職員個々が仕事目標を明確にして業務にあたっている</p> <p>区の「目標申告制度」に基づいて、職員個々が仕事の目標を明確にして業務にあたっている。年2回以上、正規職員が園長と面談を行い、目標の達成度を振り返り、職員のやる気向上を図っている。パート職員に対しては、年1回、園長が個別面談を行っている。人事異動基準を定め、「異動希望調査」で個々の希望も確認し、定期的な人事異動を行っている。クラス担当を決める際は、園児の状況や職員個々のこれまでの経歴や希望などを総合的に勘案して決めている。</p> <p>職員一人ひとりの力を発揮できるように研修が充実している</p> <p>職員育成は、区主催の研修・園内研修・外部研修・OJT・自己啓発などで行っている。区保育課が「実務研修計画」に基づいて行う研修は、研修目標が明確で、階層別職種別に必要なテーマが設定されている。専門家を招聘しての研修も多く、職員一人ひとりの力を発揮できるよう、充実が図られている。パート・アルバイト対象の研修もあり、本人希望や園長による推薦などで、全職員が研修参加できるよう勤務調整し、専門性の向上を図っている。研修受講後は、研修報告書の提出や報告を行い、職員間で共有している。</p> <p>各クラス・系の計画や進捗状況を見える化し、職場の活性化を図っている</p> <p>各クラス・系の掲示ボードを作成し、年間計画や進捗状況を事務室掲示板に掲示し、進捗状況の見える化を図ることで、職場の活性化を図っている。また、互いを認め合い、日頃の疑問を発信しやすい職場環境づくりに努め、チームワーク力を高めている。また、園長は職員との個別面談を実施し、仕事の不安などを把握し、やる気向上につなげている。さらに、園長・主査を中心に就業状況を把握し、ローテーション勤務の中で希望休暇が取れるよう調整している。</p>		

7		カテゴリー7	
7		情報の保護・共有	
サブカテゴリー1(7-1)			
情報の保護・共有に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	
		7/7	
<b>評価項目1</b> 事業所が蓄積している経営に関する情報の保護・共有に取り組んでいる		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要なときに活用できるように整理・保管している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 保管している情報の状況を把握し、使いやすいように更新している		<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> 個人情報とは、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえて保護・共有している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所で扱っている個人情報の利用目的を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 個人情報の保護に関する規定を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 開示請求に対する対応方法を明示している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 個人情報の保護について職員(実習生やボランティアを含む)が理解し行動できるための取り組みを行っている		<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー7の講評			
<b>区「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている</b> 杉並区「情報セキュリティ基本方針」に基づいて、情報の運営管理を行っている。パソコンを使用しない時は鍵のかかる書棚・机の引き出しに入れ、事務室に誰もいない時は施錠して出かけている。情報セキュリティ対策基準(部外秘)によりアクセス権等の設定をしている。基本的にUSBメモリーは園外持出禁止である。個人情報や鍵の取り扱いは十分に注意し、書庫などの鍵の取扱者を限定している。区で定めた文書保存年限に基づき、文書類の保存、廃棄を適切に管理している。			
<b>区個人情報保護条例に基づいて、個人情報の収集・利用・管理を行っている</b> 杉並区個人情報保護条例に基づいて、個人情報の収集・利用・管理を行っている。また、情報収集の目的・使用範囲などを明示し、個人情報の漏洩等の事故がないよう、その取り扱いに関して注意を徹底している。そのため、定期的に全職員で保育記録に関する情報管理の方法や危機管理について話し合いを行い、注意喚起を促している。保護者が保育記録の閲覧を希望する場合に備え「保育記録の保護者閲覧の流れ」(手順書)を作成し、「保育記録閲覧記録簿」も用意し、適切な対応ができるようにしている。			
<b>入職時の研修で区の個人情報保護方針などについて教育指導している</b> 正規職員に対して、入職時の研修で区の個人情報保護方針などについて教育指導されている。パート・アルバイト等の非常勤職員に対しては、「区立保育園で働くにあたって」という文書を配布し、「仕事をしていく上で知り得たことは、絶対外部へ漏らさないでください」との文面を確認している。実習生・体験学習・ボランティアなどの受け入れにあたっては、受入手順書を作成し、活動初日のオリエンテーションで、園長・主査が、活動中に知り得た個人情報について、活動中・活動後も第三者に漏らさないよう説明している。			

カテゴリー8

8 カテゴリー1～7に関する活動成果

サブカテゴリー1(8-1)

前年度と比べ、事業所の方向性の明確化や関係者への周知、地域・社会への責任の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている  
 ・カテゴリー1:「リーダーシップと意思決定」  
 ・カテゴリー2:「経営における社会的責任」  
 ・カテゴリー4:「計画の策定と着実な実行」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

小規模保育所や児童館からの見学を受け入れ、区立園としての役割を果たそうとしている  
 ・地域住民と一緒に震災救援所訓練を行っており、地域との連携に努めている。  
 ・園内での決定事項は職員皆で話し合い、職員の参画意識を高め、主体的な仕事の進め方の促進を図っている。  
 ・地域の保育の質を高めるため、民間の保育施設・保育園関連施設の職員の見学等に、門を広げている。小規模保育所や児童館からの見学を受け入れており、小規模保育所の職員が研修に参加している。  
 ・入園希望者の見学会を計画的に実施し、利用希望者には保育園の情報をしっかりと伝えている。見学会については、出産前からの予約が入るなど、活用されている。  
 ・自園・他園問わず、ヒヤリハット事例を通して、自分のことと捉えて受け止め、職員のリスク感性を高めている。

サブカテゴリー2(8-2)

前年度と比べ、職員と組織の能力の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている  
 ・カテゴリー5:「職員と組織の能力向上」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

職員全体で保育について考えることで、チームワーク力を高めている  
 ・向上リーダー、園長、主査を中心にテーマを決め、2グループに分かれ、園内研修を行っている。職員個人個人が自分の保育を振り返る良い機会となっている。  
 ・子どもの発達や関わり方で悩んでいる場合は、カリキュラムや会議で提示し、職員全体で考えるようにすることで、チームワーク力を高めている。

サブカテゴリー3(8-3)

前年度と比べ、福祉サービス提供プロセスや情報保護・共有の面において向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、以下のカテゴリーで評価される部分について、改善を行い成果が上がっている  
 ・カテゴリー6:「サービス提供のプロセス」  
 ・カテゴリー7:「情報の保護・共有」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者に積極的に子どもの現状を伝え、互いの思いの共有を図っている  
 ・保護者に積極的に子どもの現状を伝え、個人面談や保育参加をすすめながら、互いの思いの共有を図っている。その後、年間の個人面談希望者が増えており、保護者との共育を促進している。  
 ・保管している写真のデータ提供について、保護者に了解を得ている。区立園としての個人情報保護の取り組み方が統一しているため、保護者の理解が得られやすい。

サブカテゴリ-4(8-4)

事業所の財政等において向上している

評価項目1

財政状態や収支バランスの改善へ向けた計画的かつ主体的な取り組みにより成果が上がっている

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保育料収納率の向上に取り組んでいる

・区保育課として、給食調理用務業務の委託や指定管理制度による保育園の公設民営化によるコスト削減に取り組むとともに、保育料収納率の向上に取り組んでいる。調理用務業務委託については、平成28年度現在、公立園37園中24園で実施している。指定管理制度は、平成28年度より1園増え、6園で導入している。また、保育料の収納率については平成27年度で98.15%(対前年比0.22%増)となっている。

サブカテゴリ-5(8-5)

前年度と比べ、利用者満足や利用者意向の把握等の面で向上している

評価項目1

前年度(比較困難な場合は可能な期間で)と比べて、利用者満足や以下のカテゴリで評価される部分において改善傾向を示している  
 ・カテゴリ-3:「利用者意向や地域・事業環境などの把握と活用」

- 改善に向けた計画的な取り組みが行われており、成果として現れている
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われているが、成果としては現れていない
- 改善に向けた計画的な取り組みが行われていない

改善の成果

保護者の思いに寄り添い理解していくよう努め、保護者からの要望を受け止めている

・保護者の思いに寄り添い、理解していくことが大切との考えのもと、保護者からの要望を受け止め、できることはすぐに対応している。  
 ・近隣の小規模保育所などとの交流及び学び合いや区の幼保小担当の見学受け入れなどを通して、地域の子育てニーズを把握し、園としてできることを行っている。

Ⅱ サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>区のホームページや情報誌、園で作成したチラシなどで情報提供している</p> <p>区のホームページや広報紙、情報誌「保育施設ガイドブック」「杉並区保育施設マップ」などにより情報提供している。ホームページには、施設情報や主な行事、園の特色、見取り図、子どもたちの様子の写真などを掲載している。園独自の取組みとして「あそびにきてね」というチラシを作成し、散歩に出る時に持参して、0・1歳児くらいの親子連れに出会った時などに渡し、園庭開放などに誘っている。園のフェンスには外部向けの掲示板を作成して、身体測定や園庭開放などの子育て支援のお知らせを掲示している。</p> <p>区立直営園であり、区や関係機関と連携している</p> <p>区立直営園であり、保育課には月報などの運営上のさまざまな情報のやり取りをし、連携している。地域の小学校や児童館、園医には園だよりを送付している。児童館が事務局になっている地域子育てネットワークで、子どもの関係機関や民生児童委員、町会長なども情報交換をしている。地域の警察署には隣接する公園の不審者対策などで相談をしている。近隣の公立保育園1園と5歳児が交流している。また、地域の公設民営保育園の職員の実習を受け入れることもしている。</p> <p>入園希望者の見学には見学日を設けて、説明や施設の案内をしている</p> <p>見学希望は電話で受け付け、見学会日程を知らせて予約してもらっている。5月から12月にかけて計7回実施している。10月の参加者は17組である。見学会は子どもの遊んでいる様子を見てもらえるように、午前10時頃から実施している。見学者用に作成した文書を配布して、ホールで園の概要や行事、園目標や保育目標、園独自の活動、散歩に行く公園などを説明し、園内を見学してもらっている。参加者からは、持ち物や発熱時の連絡、避難訓練、おむつの持ち帰り、バギーの置き場などの質問が寄せられ、丁寧に対応している。</p>		
サブカテゴリ-2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリー2の講評		
<p>サービス開始前に重要事項や基本的なルールなどについて説明している</p> <p>入園内定者には、2月下旬に入園健康診断と面接を実施し、3月中旬の土曜日の午前中に、入園説明会を実施している。入園説明会では、「保育園のご利用にあたって」「高円寺東保育園のしおり」を基にして、園の様子を画面で見てもらいながら、施設の概要や職員構成、緊急時の対応、個人情報保護、園の保育目標、主な行事などを園長が説明し、防災・防犯については主査、健康面は看護師が分担して伝えている。また、ビデオや写真撮影と食育についての承諾書ももらっている。</p> <p>0歳児では保護者の意向に合わせて、登園日(慣れ保育の開始日)を決めている</p> <p>0歳児クラスでは、4月中に職場復帰予定の保護者が多いことから、保護者の意向を確認した上で、復帰の時期に合わせて、慣れ保育を1週間から10日程を目安にして決め、登園してもらっている。初日は親子で一緒に過ごし、保護者同士の自己紹介や親子写真撮影をして、顔合わせの機会にしている。2日目からは、事前に決めた日程で登園している。子どもの慣れる具合で徐々に保育時間を延ばしている。転園児の場合は早めに通常の保育時間で預かるようにしている。1歳児以上は初日から子どものみで預かり、子どもの様子に応じて保育時間を延ばしている。</p> <p>退園や転園する際は、相談に応じて、いつでも遊びに来てくれるように伝えている</p> <p>退園や転園する場合は、これからの新しい育児環境に不安がないかどうか、相談に応じて話を聴くようにしている。最終日にはクラスでお別れ会を開き、その子の作品や写真付きのメッセージカードを手渡したりしている。近隣であれば、「いつでも遊びに来てください」と伝えている。また、卒園児や保護者には、「困ったことがあればいつでも保育園に来てください」と伝えている。小学校1年生には、運動会の招待状を学童クラブに届けたり、郵送したりしている。小学校の運動会や学芸会などに出向き、卒園児に会うと声掛けして励ましている。</p>		
サブカテゴリー3		
3	個別状況に応じた計画策定・記録	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 12/12
評価項目1 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当

<b>評価項目2</b> 保育課程や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		評点(〇〇〇〇〇)
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、保育課程を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当

<b>評価項目3</b> 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		評点(〇〇)
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	<input type="radio"/> 非該当

<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		評点(〇〇)
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-3の講評

**子どもの心身の状況や生活状況などの情報を健康管理票や児童票などに記録している**  
 入園時には健康診断と面接を実施して、事前に保護者に記入してもらった「家庭連絡票」や「入園までの生活状況」などを基に、子どもの心身の発達状況や成育歴、入園までの生活状況、食事の状況などを詳しく聴き取り、追記したり、「新入園児健康調査票」などに記入したりしている。入園後は毎月の身体測定や月2回の0歳児健診、年2回の定期健康診断の結果は健康管理票や健康カードに記入し、日々の子どもの姿は保育日誌や保健日誌に記入している。児童票には子どもの発達状況などを記入している。

**指導計画は子どもやクラスの状況を職員間で話し合い、作成している**  
 月間指導計画(月案)は担任同士でクラス打ち合わせを行い、子どもの様子やクラスの状況を話し合い、年間指導計画に沿って、保護者から寄せられた意見なども参考に作成している。月初めに実施している職員会議で、各クラスの月案について話し合っている。事前に事務室に置いている月案に各自で目を通してもらった上で、意見を出し合い、課題をホワイトボードに書きこみ、一つひとつを全員で議論して共有化している。乳児クラスは毎月、個別配慮を作成し、幼児クラスは配慮が必要な子どもについても個別配慮を作成している。

**子どもや保育に関する情報の共有のためにさまざまな会議を開催している**  
 子どもや保護者の状況の変化などの情報共有のために、さまざまな会議を開催している。毎日13時50分からミーティングを実施して、ヒヤリハット報告、怪我やトラブルなどの子どもの情報、給食の感想、翌日のアレルギーチェック、職員体制についてなどを報告し、園日誌に記入している。クラスから最低1名以上が参加し、参加できない職員にはクラスで伝達、もしくは園日誌を見ることにしている。園長会報告や行事の検討、研修報告をしている定例打ち合わせを週1回、指導計画を検討する職員会議を月2回、各クラス打ち合わせを随時実施している。

サブカテゴリ-5

5 プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7

評価項目1  
子どものプライバシー保護を徹底している 評点(〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2  
サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している 評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 子どもの気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 虐待を受けている疑いのある子どもの情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関に連絡し、その後も連携できるような体制を整えている	<input type="radio"/> 非該当

サブカテゴリ-5の講評

**個人情報の保護や子どもの羞恥心への配慮をしている**  
 個人情報保護については入園説明会で「重要なお知らせ」や「園のしおり」を基に伝えて了解してもらい、写真撮影と食育についての承諾書をもっている。専門機関などへ情報提供する場合には、個別に保護者の同意を得ている。子どもの羞恥心への配慮として、プールやシャワーなどは周辺を囲い外から見えないようにし、着替えはカーテンを閉めて部屋で行っている。トイレの立ち便器の端に衝立をして見えないようにしている。プライベートゾーンの大切さについて、看護師が子どもたちに話している。

**保護者の価値観や子どもの状況に応じて可能な限り配慮している**  
 保護者の考えや子どもの状況に合わせて可能な限り対応している。例えば、予防接種を受けない、薬をつけないなどの考えの人には、受けるように勧めたりはしない。子どもの肌が弱いので、園で使用している虫除けスプレーではなく、家庭から持参する虫除けスプレーを使用してほしい、長袖・長ズボンを着用させたいなどの申し出は受け入れている。日焼けを気にする人には水遊び時にラッシュガードの着用を受け入れている。子どもの習い事のための早退なども受けている。

**職員の日常の言動や行動について文書を基に話し合い、振り返りをしている**  
 パート・アルバイト職員向けの文書「保育をする上で大切にしたい3つのポイント」を基に、職員にも伝えている。「園児への言葉かけや呼びかけはその子の側でゆっくり」、「子どもよりも多くしゃべらない」、「子どもへの声かけは、『～しようね』とする」の3点を挙げて説明している。また、毎月の園内研修では保育の振り返りを行い、保育士の子どもへの関わり方を取り上げて、「この場面ではどうすればよかったのか」などの話し合いをしている。



評価項目1

手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	<input type="radio"/> 非該当

評価項目2

サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている

評点(〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員一人ひとりが工夫・改善したサービス事例などをもとに、基本事項や手順等の改善に取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当

評価項目3

さまざまな取り組みにより、業務の一定水準を確保している

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 打ち合わせや会議等の機会を通じて、サービスの基本事項や手順等が職員全体に行き渡るようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 職員が一定レベルの知識や技術を学べるような機会を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 職員全員が、子どもの安全性に配慮した保育ができるようにしている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 職員一人ひとりのサービス提供の方法について、指導者が助言・指導している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 職員は、わからないことが起きた際に、指導者や先輩等に相談し、助言を受けている	<input type="radio"/> 非該当

**区立保育園共通のマニュアルや園独自の保育園マニュアルを整備して活用している**

区立保育園共通の「危機管理マニュアル」の中に、「感染症」「事故防止」「保健」「食物アレルギー」「個人情報保護」等のマニュアルが整備されている。その他に、園独自の保育園マニュアルとして、「園庭遊びの約束事」や「当番の仕事の流れ」、「土曜日の保育」、「嘔みつき引っこ掻きの対応」などの業務に関する手順書類を整備して、事務室や各クラスに置き、必要な時に確認できるようにしている。これらの手順書類は、年度末の反省の時に検討し、「当番の仕事の流れ」は、人数の増減や子どもの成長などにより、必要に応じて随時変更している。

**保育の質の向上のために、園内研修や保育課の研修などで積極的に学んでいる**

園内研修では保育の振り返りの事例検討やビデオカンファレンスをするなどして学び合っている。保育課の実務研修や都の研修、外部研修などにも、必要な知識や技術を学ぶために積極的に参加している。実務研修では、子どもの発達と保育、保育の中の危機管理、家庭支援とチームワーク、子どもの発達、実践記録検討会などに参加している。学んだことを会議の中で報告し、研修資料を綴じて、詳しく知りたい時にはいつでも見ることができるようにしている。

**職員は分からないことや悩みなど、先輩や園長に相談して助言を受けている**

毎月の指導計画の話し合いや園内研修で、子どもの見方や捉え方について園長やベテラン職員、若手職員と一緒に議論している。保育上の困ったことなどはベテランに相談したり、事務室で助言してもらったりしている。新人職員の育成には、話しやすいように出来るだけ年齢の近い職員を新人育成担当にしている。新人育成担当者は研修を受けて新人に課題を投げかけたり、新人職員の悩みを聞いたり、2か月毎に区にレポートを提出させている。2・3年目の職員の育成者は、主査が担当して、年に3回園長にレポートを提出させている。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

		サブカテゴリー4	
サービスの実施項目		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつぎ等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている		○非該当
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している		○非該当
評価項目1の講評			
<p>子どもが主体的に遊べるような園庭環境作りに取り組んでいる</p> <p>子どもが主体的に遊べる園庭環境について学び、使用方法について議論し、勉強会を繰り返してきた。子どもの主体性・協同性・創造性を育むことを目指し、自分で選んで遊べるコンテナ、タイヤ、マルチパーツ、風呂椅子などの可動遊具を用意している。置き方も2か所に置くことで園庭のさまざまな場所でみんなが遊べるようにしている。また、乳児クラスの子どものためのカニの砂場を用意し、道具も使いやすいところに置くなどしている。園庭では、子どもたちが思い切って遊べるように、乳児が遊ぶ時には幼児が散歩に行くなど工夫している。</p> <p>子ども同士のトラブルには、子どもの気持ちを受けとめて対応している</p> <p>子ども同士のトラブルでは、両方の子どもの気持ちを受けとめて対応している。乳児期の場合には「～したかったね」と子どもの思いを言葉にして、気持ちを受けとめるようにしている。「子ども同士のトラブルでの怪我について」の文書を基に保護者会で説明し、発達の過程で生じる噛みつきやひっかきは、子どもが成長するうえで貴重な経験であることを伝えている。その際には、子ども同士の関わりの様子や保育士の仲介、怪我になってしまった状況などを詳しく丁寧に双方の保護者に伝えている。</p> <p>小学校との円滑な接続に向けて、学校訪問をして1年生と交流している</p> <p>小学校への円滑な接続に向け、今年から地域の小学校との交流を始めている。内容は、5歳児が1年生と一緒に遊ぶ、小学校の校庭に遊びに行く、展覧会を見学する、4年生と遊ぶなどであり、2月頃にも学校見学に行き、教室の椅子に座ったり、ランドセルを背負わせてもらうなどの体験を予定している。また、5歳児の保護者会で、小学校1年生の先生の話や話を聴く機会を設け、「小学校に入学するまでに身に付けて欲しい力」などの話をしてもらっている。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している		○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている		○非該当

評価項目2の講評

登園時には子どもの健康観察をし、保護者に家庭での様子を聴いている

登園時には「おはようございます」と挨拶をして受け入れ、子どもの顔色や機嫌、傷の有無などの健康観察をして、保護者に子どもの家庭での様子を聴いている。前日、園で怪我や発熱をした場合には事務室のホワイトボードに貼り出したり、「朝タクラス簿」に記入しておき、朝当番が保護者に家庭での子どもの様子を詳しく聴き取っている。また、観察して気になることがある場合には保護者に確認したうえで、看護師が視て対応する旨を伝えている。「朝タクラス簿」は保護者からの連絡事項も記入して、朝当番から各クラスに引き継ぎ、保育に活用している。

生活習慣が身に付くように、保護者と協力しながら援助している

年齢発達のおおよその姿などを保護者やクラスだけで伝えて、食事や排泄などが身についていく過程は個人差があるため、子どもの状況や保育士の援助の仕方を連絡帳や送迎時の会話で家庭に伝えて、子どものペースに合わせて自立に向けて進めている。離乳食は子どもの状況に合わせて少しずつ形態を変えながら、スプーンを持って食べたりコップで飲んだりできるようにしている。トイレトレーニングでは、個々の子どもの状況に合わせて家庭と連携しながら無理せずすすめている。着脱に取り組んでいる様子も写真などで紹介するなどしている。

お迎えの保護者には一人ひとり子どもの様子を伝えている

子どもの一日の様子は乳児組では複写式の連絡帳で伝え、幼児クラスでは必要に応じて連絡メモで伝え、お迎えの際に掲示している「貼り出し日誌」を読んでもらっている。お迎えの際には、「お帰りのさい」と声をかけて迎え、連絡事項だけでなく、一言は子どもの様子を伝えるようにしている。夕方の当番保育士が対応する場合は、担任から「朝タクラス簿」と共に口頭でも引き継ぎをして、伝えている。日中保育をした担任が直接伝える必要がある場合にはお迎えを待って伝えている。怪我をした状況によっては園長も一緒に保護者に伝えている。

3 評価項目3

日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している

評点(〇〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている	○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている	○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している	○非該当

評価項目3の講評

子どもの気持ちを受けとめ、集団活動に入りたくなるまで、待つようになっている

集団に入れない子どもには、「何に困っているのか」などを聴いたり、押し置いたりして、その子どもの気持ちを理解するよう心がけている。「恥ずかしいからしたくない」、「出来ないからしたくない」などその子どもの気持ちを受け止めている。「皆がしていることを見てみようか」と一緒に見ていたりして、無理強いないで本人がやりたくなるのを待ち、「やりたくなったら、いつでも入っておいで」と伝えて、いつでも受け入れられるような対応をしている。

話したり、聴いたりする言葉の感覚を養えるような取り組みをしている

月に1回ボランティアの人が2人来園し、16時15分から20～30分程度の時間、4・5歳児に素話、絵本などの読み聞かせをしてきている。子どもたちはよく聴いている。また、5歳児は人数調べ当番をしている。各クラスの子どもの人数を聞きに行き、事務室に報告に来て、入室の際にはノックをして、「おはようございます」と挨拶をし、聞いてきたことを正確に報告している。散歩から帰ると、散歩先でしたことを子どもたちが事務室に報告に来ている。幼児クラスでは、休みの翌日には人の前で、自分の経験したことを発表する機会も作っている。

きまりがあることを知らせ、子どもがきまりを守れるように、配慮している

生活や遊びの中で、決まりがあることや決まりを守ることの大切さを知らせている。廊下は走らないことを言葉で伝えるだけでなく、線や足型を貼り、子どもが自ら気づけるようにしている。園庭の約束として、ジャングルジムは黄色は乳児が登れる位置、赤は2歳児の位置、ブルーは3歳児の位置と決めている。シャベルは振り回さない、コンテナは3個以上は積まないなども約束にして、外遊びの遊具は子どもたちが片付けやすいように置いている。乳児用の砂場を作った際には、「赤ちゃんたちが使わない時には使っても良い」ことなどを知らせている。

4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている	○非該当

評価項目4の講評

子どもの年齢に合わせて、行事に参加したり雰囲気を楽しんだりしている

行事は子どもが興味関心をもち、取り組んでみようとする機会にしている。伝承行事では、七夕には笹飾りを作って、5歳児はプラネタリウム見学に行っている。節分は幼児クラスで集会として実施し、5歳児が鬼になって乳児クラスに行っている。ひな祭りは、ひな人形を飾り、子どもたちも手作りのひな人形を作って飾り、2歳児から会食会をしている。0・1歳児はひな人形を見るなどして、雰囲気を楽しんでいる。遠足は、4・5歳児がバスに乗って遠足に行き、3歳児は近隣の公園などにピクニック遠足を実施している。

子どもたちが話し合ったりリレーなどに取り組み、やり遂げた感を味わっている

10月の運動会は土曜日に、幼児組中心で実施している。乳児組は自由参加にして、地域競技の中で参加してもらっている。運動会の5歳児のリレーでは子どもたちが意欲的に話し合っており、チームや走者順を決めたことで、お互いに頑張り、盛り上がった運動会になった。その他に、幼児組の異年齢の取り組みとして、リズムを観てもらっているが、5歳児の動きを3・4歳児は憧れの気持ちで見たり、真似たりしている。なお、土曜日保育を希望する場合には受けている。

行事日程は早めに知らせ、子どもたちの取り組みなどを伝えて、協力してもらっている

保護者参加の行事は運動会であり、年度始めに年間行事予定表でお知らせしている。行事が近づいてから、お知らせやプログラム(ご案内)を配布している。子どもの取り組んでいる様子などを、貼り出し日誌で掲示したり、クラスだよりを発行して伝えて、楽しみにしてもらっている。集団活動に参加しない子どももいるので、子どもの状況を保護者に個別に伝えて、個々の発達を理解してもらっている。そのほかに、2回目の保護者会の中で、子どもたちの劇ごっこや歌、合奏などを見てもらったり、「親子で一緒に遊ぼう会」を企画するなどしている。

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当

評価項目5の講評

朝夕保育では、子どもの状況により、クラス保育や異年齢合同保育をしている

朝保育では7時30分～8時には0・1歳児は0歳児室で、2～5歳児は3歳児室で合同保育をしている。8時以降は0・1・2・3歳児はそれぞれの保育室に移り、4・5歳児は8時30分まで合同保育をしている。夕方の保育は、18時15分まで、全クラスがクラスで保育し、人数減に伴い次第に0・1歳児、2・3歳児、4・5歳児と一緒に過ごしている。18時30分から1時間の延長保育は異年齢の合同保育にしている。

朝夕の合同保育時には、個別に遊べる場所を作ってじっくり遊べるようにしている

朝夕の合同保育の時には、落ち着いて遊べるように、その年齢の子どもに合った玩具や使いたい玩具などを他の部屋から持ってくるなどしている。他の人に邪魔されずに遊びたい子どもには、仕切るなどして個別に遊べる場所を作ったり、ゆっくり絵本を読みたい時には、廊下に設定している机の場所で読んでいる。職員を配置して、大人の側にいたい、大人と一緒に遊びたいような時には、大人とゆったりと過ごせるようにしている。

年上の子どもの遊びに年下の子どもが興味をもち、一緒に遊んだりしている

夕方の合同保育では、5歳児がボードゲームで遊んでいると、4歳児も教えてもらって一緒に遊ぶようになっていく。それを観ている3歳児も興味をもち始めている。また、年上の子どもが、年下の子にエプロンをつけてあげたりして面倒を見ている。土曜日保育も一緒になる子どももいるので、兄弟ではなくても好きな子どもや憧れの子どもなどができており、一緒に遊んだり、面倒を見てもらったりして、自然な異年齢交流の場になっている。

6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当

評価項目6の講評

安定して座り、落ち着いて楽しく食事ができるようにしている

乳児クラスでは、子どもが安定して椅子に座れるように、子どもの体形や背丈に合わせて脇クッションや足台を使用したり、衝立などを使って食事のスペースを作り、落ち着いて食事ができるようにしている。また、お楽しみ会、七夕等の行事では、会食にして、バイキングで食事をしたり、星形人参に切り方を変えるなど、楽しく食事ができるようにしている。誕生日には、幼児を対象に、同じ献立にひと工夫した「誕生日プレート」を提供している。年3回ぐらい「セレクトおやつ」を導入して、5歳児が3時のおやつを3種類の中から選ぶこともしている。

給食は区立園共通の献立で、旬の食材で自然の美味しさを大事に、園で手作りしている

献立は栄養士が職員の意見を参考にして作成した区立園共通のもので、栄養バランスのとれた給食を園で手作りしている。旬の食材を使って、昆布やかつおぶし、煮干などで出汁をとり、自然のおいしさを味わえるようにしている。食の安全性について留意し、給食の実物展示や食材産地の掲示もしている。毎日開催しているミーティングで、今日の給食の喫食状況や味付けなどの意見を出し合い、調理室で参考にして活用している。また、食物アレルギー児には、食物除去申込書を提出してもらい対応している。

野菜栽培や食材の下処理経験、調理保育などの食育活動をしている

園庭のプランターで、オクラ、ピーマン、枝豆などを栽培し、さつまいもは屋上の畑に植えている。二十日大根も予定している。子どもたちが、植え付けや水やりをして生育を観察し、収穫して調理室で炒めるなどしてもらい、採れたてを食べている。食材に触れる経験として、豆類のさやむき、とうもろこしや玉ねぎの皮むきなどを経験している。調理保育として、4・5歳児がおにぎり作り、5歳児がクッキー作りをしている。食育活動の一環として、5歳児に、一人一匹のさんまの塩焼きを提供して、骨付き魚の食べ方を知らせて、箸で食べる経験をしている。

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当

評価項目7の講評

自分の健康や安全に関心が持てるように、分かりやすく伝えている

子どもたちへの保健教育として、看護師が歯磨きの大切さや風邪の話などをしたり、うがいや手の洗い方の指導では手の洗い残しが見える装置を使うなどして、子どもにわかりやすく洗い方を伝えている。歯磨き指導は歯科衛生士により、紙芝居や大きい歯型を使った視覚的でわかりやすい指導を受けている。また、日常の保育の中で、危ない遊び方や場所などを一つひとつ教えている。廊下には足型を貼ったり線を引くなど、「廊下は走らない」を知らせ、散歩時には道路の歩き方や横断歩道の渡り方などの交通ルールを伝えている。

医療機関や療育機関と連携して対応している

小児科の園医は月2回の0歳児健診、年2回の定期健康診断に来園しており、子どもの健康状態について相談したり助言をもらったりしている。年1回の歯科健診や幼児クラスが対象の耳鼻科・眼科健診も受けている。療育機関からは年2回程度、通所している子どもの様子を園に見に来てくれ、相談に応じてくれている。

子どもの健康維持に向けて、保護者向けに情報提供をしている

毎月、保健だよりを発行して、子どもの健康に関する情報を提供している。保護者会では各クラスで看護師から話をする時間を設け、季節の肌ケア、生活リズムなど、専門職の立場で話してもらっている。感染症が園で発生した時には、事務室の外に、病名、潜伏期間、症状、気を付けて欲しいことなどを掲示して注意喚起している。乳幼児突然死症候群(SIDS)について、入園説明会で仰向け寝や園での睡眠時チェックの話を受けている。ホールでの午睡時には病歴のある子どもがいることからホールの午睡当番を2名にして対応している。

8 評価項目8

保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている

評点(〇〇〇〇〇)

評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当

評価項目8の講評

保護者会では、保護者が困っていることや育児の悩みなどを話し合う時間を設けている

年2回の保護者会の中で保護者同士が話をする時間を設定している。話したいことなど事前に寄せてもらい、テーマを決めて「イヤイヤで困っている」、「家で遊びではどんなことをしているのか」など、グループに分かれて話してもらっている。また、保護者会終了後、ホールで子どものおやつが済むのを待ってもらっている間は、保護者同士の自然な交流の場になっている。

保護者とのコミュニケーションを大切にしている

送迎時には、保護者との会話を大切に日中の子どもの様子を伝え、乳児クラスは連絡帳でも伝え、幼児クラスは貼り出し日誌を読んでもらっている。月1回以上クラスだよりを発行している。年1回以上の個人面談、年2回の保護者会などでも園の保育の様子を伝えている。また、園だよりには「最近の我が家のトピックス」や「子どもとの時間を楽しくするための工夫」などのテーマで、保護者にエッセイを依頼して掲載している。エッセイを寄せてくれた保護者と読んだ保護者や職員との会話が弾んだり、親しみが増したりしている。

個人面談や保育参加・参観、行事などで園の保育の様子などを知ってもらっている

個人面談は幼児が6月から8月頃、乳児は秋に実施し、14時15分から15時で設定している。期間は決めているが、保護者の都合に合わせて対応している。個人面談は必要があれば、園や保護者からの申し出などでも実施している。保育参加・参観は特に期間を決めずに、随時受け付け実施している。担任が保護者に呼びかけ子どもと一緒に過ごしてもらおうと、「参加して、子どもと遊べて良かった」などの感想が寄せられた。運動会では、保護者競技や親子競技を実施している。父母会の夏祭りは七夕の頃の日曜日に、園庭で実施している。

9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが地域の資源を利用し、多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当
評価項目9の講評		
<p>地域の保育園との交流や区の複合施設に作品展示をするなどしている</p> <p>区の複合施設に園児の作品を展示して、親子で観に行ってもらっている。運動会が雨天の際には小学校の体育館を借りている。5歳児が作成した運動会のポスターを学校や給食食材納入業者の店、園医の医院、児童館に貼らせてもらっている。小学校との交流や他の区立保育園の5歳児と交流をしており、地域の保育園に綱引きの綱を貸し出したり、園内研修に参加してもらうなどの交流もしている。</p> <p>ボランティアによる「お話し会」など、職員以外の人との交流をしている</p> <p>運動会は園庭で実施しており、ポスターを掲示して、地域の人にも参加を呼びかけているが、今年は雨のために参加は園児の兄弟関係程度であった。毎月第2火曜日には4・5歳児向けにボランティアによる「お話し会」を実施している。父母会主催の園庭で実施している夏祭りには、音楽家の保護者が演奏をしてくれたり、一昨年は交響楽団のメンバーによる演奏会を実施し、地域の人にも声かけて聴きに来てもらった。</p> <p>園庭開放には地域の私立保育園も来てくれている</p> <p>地域の子育て支援として「園庭開放」を実施しているが、子育て中の人参加は3～4名程で多くはなく、身体測定は2名の利用である。園庭開放には地域の私立保育園からも遊びに来ている。また、児童館主催の保育園ツアーでは、0歳児が2組ずつ、3日間来園した。児童館の事業に協力して、1歳児担任が「生活リズムや遊びについて」話し、2歳児担任が「おむつ外しについて」話をするなどした。看護師が0歳の健康について話をするなどの協力をしている。</p>		



事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	子どもの主体的な遊びを保障するために、環境作りに力を入れている	
内容①	子どもの主体的な遊びの環境作りを目指して、環境プロジェクトを立ち上げて検討している。園庭環境では、さまざまな可動遊具を子どもの使いやすい場所に置き、自由に出し入れて使えるようにしている。室内環境では、ままごとや積み木などの構成遊び、机上遊び、絵本など、遊びごとのコーナーを設定している。ままごとコーナーには、手作りの具材が並び、使いたくなるような雰囲気である。そのほか、廊下の人形ハウスを置いたり、椅子・テーブルを配置して、一人でじっくり遊んだり、絵本を読みたい時に利用できる環境を作っている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-3-4	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している
タイトル②	子どもに関する情報の共有と連絡漏れを防ぐために、さまざまな対策をとっている	
内容②	登園時に保護者から聴き取った子どもに関する情報や、降園時に保護者に伝える連絡事項は、「朝タクラス簿」に記録して、職員間で引き継ぎの際に利用し、保育に活用して情報共有の資料にしている。毎日のミーティングでも報告している。そのほかにも、職員全体で周知しておく必要がある情報については、事務室のホワイトボードに、「本日、～ちゃんが園で怪我をして受診した」、「～ちゃんの誕生日ボードを7時30分時点で所定の場所に出す」などと貼り出して、職員間の情報漏れを防ぐ対策をとっている。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	5-2-1	職員一人ひとりの主体的な判断・行動と組織としての学びに取り組んでいる
タイトル③	園庭環境づくりに取り組んでおり、「園庭遊びの約束事と配慮」を作成している	
内容③	子どもの自主性・協同性・創造性を育むことを目指し、園庭環境づくりに取り組んでいる。遊具の奪い合いや走り回ることが起きないように、多種多様の遊具を揃え、一人ひとりが主体的にのびのび遊べる園庭づくり、乳幼児が関わりあいながら一緒に遊べる園庭づくりに取り組んでおり、園庭の改善に数々取り組んでいる。あわせて、「園庭遊びの約束事と配慮」を作成し、ジャングルジム・ブランコ・鉄棒・可動遊具などの遊具ごとに、約束事と留意事項を詳細に定め、子どもの安全にも配慮している。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	園内研修では、保育の振り返り事例やビデオなどを基にグループ別に話し合っている
	内容	園内研修では、若手グループとベテラングループの2つに分け、話し合っている。「保育者と子どもとの言葉のやり取り3往復以上の振り返り事例」を提出して読み合わせ、その中から子どもの気持ちの読み取りや保育者の対応について、意見交換をしている。また、保育実践をビデオ撮影し、「子どもに寄り添うこととは」を話し合ったり、わらべ歌遊びや歌遊びに皆で取り組んだり、各年齢の散歩における子どもの経験を、5領域毎に分けて分析したりしている。グループから出た意見を比べて、考え方や子どもの捉え方に違いがあることも学んでいる。
2	タイトル	近隣の民間保育施設との連携として、水遊びの場所を提供している
	内容	毎週火曜日・木曜日に10時から、園庭開放を実施している。当園は、シャワー設備が整い、以前、乳児の水遊びに使用していた2階のベランダが空いている。園庭開放では、園庭がないため、場所が取れずに水遊びができない近隣の保育園にベランダを開放している。公立保育園として地域の民間保育施設との協力・連携の取り組みとして、水遊びを楽しんでもらうようにしている。
3	タイトル	保護者同士・保護者と職員の交流の場として「カフェガーデン」を開催している
	内容	年2回「カフェガーデン」を開催して、保護者同士や保護者と職員の交流の機会としている。16時30分から19時30分まで、お迎えに来た保護者を屋上に案内している。屋上のシロツメクサの庭園で夕日を眺めながらお茶を飲み、ホッと一息してもらえる会にしている。保護者からは「始めて屋上に来た」「こんな場所があるとは知らなかった」「ゆっくりお茶が飲めるのはありがたい」などの声が寄せられている。冬にはホールで実施し、手作り玩具などを並べて見てもらったり、絵本を紹介したりして、お茶を提供している。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	保育の計画を保護者に伝え、より一層「保護者と共に子育てをする」取り組みの工夫を期待する
	内容	園目標や保育目標は、園の玄関などに掲示されている。保育の計画の保護者への説明は、年度始めの保護者会で資料をもとに、園目標やクラス目標、おおよその年齢発達の子どもの姿と共に、取り組んでいくことを伝えている。活動の様子は日々の会話や連絡帳、貼り出し日誌で伝えている。今後は活動の様子だけではなく、指導計画のねらいや活動内容なども保護者に伝えるなどして、「保護者と共に子育てをする」に向けた取り組みの工夫をよりいっそう期待する。
2	タイトル	子どもたちの人への親しみや関心が深まるように、地域の多世代の方々との交流の工夫を望む
	内容	地域の小学校や保育施設との交流をし、複合施設に作品の展示をしている。月1回のお話会のボランティアを受け入れている。高齢者を初め、地域の人々との触れ合いは重要なことであり、今後は、子どもたちが親しみや関心を深められるように、高齢者を含む地域の多世代の方々と触れ合う機会の工夫を望む。
3	タイトル	外部の苦情相談窓口について、その周知の徹底が望まれる
	内容	利用者調査では、外部の苦情相談窓口について、肯定的に返答した方々は全回答者の29%、否定的に回答した方々が41%であった。園としては、「保健福祉サービス苦情調整委員制度」についてのポスターを園内に掲示したり、「園のしおり」にも記載し、保護者に周知しているが、外部の苦情相談窓口について、周知の工夫とその徹底が望まれる。